

令和 6 (2024) 年度開講

# 『演習 I』(ゼミ)

## 募集要項

対象：経済学部 2 年生

1次選考



※演習 I に関するお知らせは大学HP上でも確認して下さい。

# INDEX

①	選考方法	2
②	選考スケジュール	5
③	ゼミナールに入ろう	6
④	演習別コース選択一覧	12
⑤	選考方法一覧（教員氏名 50 音順）	13
⑥	公開ゼミ一覧	20
⑦	教員の連絡先一覧	23
⑧	募集ゼミ内容紹介（教員氏名 50 音順）	24

## ① 選考方法

本年度も、応募書類を簡素化しています。

応募に必要な内容は次の3点です

①自己紹介（K-SMAPY II のアンケート機能に記載）

②志望理由（K-SMAPY II のアンケート機能に記載）

→第1希望の演習のみ

③教員任意課題（第1希望の演習のみ。第1希望の教員に直接提出。

課題がない演習もあります）

選考方法は1次選考から3次選考まで3回行います。

①1次選考（第1希望の演習の選考）

②2次選考（第2～4希望いずれかの演習\*の選考）

③3次選考（あらたに応募し、第1希望から第3希望いずれかの演習\*の選考）

【注 1】2次選考、3次選考の「いずれかの演習」は、各演習の受入れ残り人数と応募者数をみて、経済学部で調整・指定します。その際には、応募者のGPAと修得単位数を参考にします。

## 1 次選考について

- ・ 第 1 希望の演習の選考を行います（2 次選考でも使用するため、第 1 希望から第 4 希望まで選択してください。1 次選考の内容・方法は、教員によって異なります）。
- ・ 多くのゼミが面接を実施します（対面もしくはオンライン）。面接の日時とオンラインの際は Zoom の URL、課題の提出方法等については各教員から直接連絡します。
- ・ 1 次選考で合格した学生はこれで終了、不合格の学生は 2 次選考へ自動的に移行します。
- ・ 1 次選考で定員に達した演習は 1 次選考で終了となり、2 次選考は行いません。

## 2 次選考について

- ・ すでに提出した第 2～4 希望のうち、いずれか 1 つの演習での選考（大学が指定）となります。
- ・ 2 次選考を行う演習を告知します。**1 次選考において不合格であったゼミには再応募できません。**
- ・ 第 2～4 希望の演習が「募集終了（受入れ不可）」の場合を想定し、修正期間を設けています（修正は全員が可能）。
- ・ 応募者の偏りを小さくするよう、第 2～4 希望で調整（マッチン

グ) します (**GPA と修得単位数を参考にします**)。

- ・ 第 2 ～ 4 希望のうち、いずれか 1 つの演習を経済学部で指定し、お知らせします。**その後、指定された演習の「志望理由」と「教員任意課題」を作成し、教員に直接提出**してください。
- ・ 各教員から選考日時や課題の提出に関して連絡があります。

### 3 次選考について

- ・ あらたに、第 1 希望から第 3 希望まで選択します。
- ・ 応募者の偏りを小さくするよう、第 1～3 希望のなかで調整 (マッチング) します (**GPA と修得単位数を参考にします**)。

### 教員が指定する学科・コース

・ 各ゼミで受け入れる教員により、受け入れる学科やコースが指定されています。経済学科のみのコースを指定している演習には、経営学科の学生は応募できません。また、経営学科のコースのみを指定している演習には、経済学科の学生は応募できません。

**注 1) ゼミに合格した後に、教員が指定 (○) するコースのうちどれか 1 つを選択することになります。**

**注 2) 2022 年度以前の入学者 (K-ENT 研究発表型入試の利用者) は入学時にコースが設定されているため、1 次選考では原則として設定**

コースを受け入れている教員のゼミに応募するものとします。ただし、自分の研究内容との関係で、志望するゼミが地域経済コースまたはビジネスクリエーターコースを受け入れ不可の場合は、この限りではありません。

## (ア) 選考スケジュール

### ★一次選考スケジュール★

- 公開ゼミ 5月8日(水)～5月20日(月)
- 応募期間 5月15日(水) 9:00～5月21日(火) 23:59
- 選考期間 5月23日(木)～5月29日(水)
- 合格発表 5月31日(金) K-SMAPYⅡにて発表(20:00発表予定)

### ★二次選考スケジュール★

- 告知(二次選考を実施するゼミ) 5月31日(金)
- 公開ゼミ 6月3日(月)～6月8日(土)
- 修正期間 6月3日(月)～6月10日(月)  
\*全員が修正可能。第2～4希望の3つの希望を埋めなければならない(もし、埋まっていなければ、2次選考への応募は無効となる)。
- 演習の指定(大学からの連絡) 6月14日(金)
- 選考期間 6月21日(金)～6月27日(木)
- 合格発表 7月1日(月) K-SMAPYⅡにて発表(20:00発表予定)

### ★三次選考スケジュール★

- 告知(三次選考を実施するゼミ) 7月1日(月)
- 応募期間 7月1日(月)～7月5日(金) (K-SMAPYⅡのアンケート機能より応募)
- 演習の指定(大学からの連絡) 7月9日(火)
- 選考期間 7月16日(火)～7月20日(土)
- 合格発表 7月23日(火) K-SMAPYⅡにて発表(20:00発表予定)

## ③ゼミナールに入ろう

経済学部 教務部委員

東海林 孝一

この募集要項では各ゼミの活動内容や特徴を紹介します。きっと皆さんが学びたい分野のゼミが見つかると思います。みなさんがこの要項を熟読のうえ、自分に最もマッチしたゼミについてよく研究し、ひとりでも多くの学生が応募・合格してくれることを期待しています。

### (1) ゼミとは？

ゼミナール（ゼミ）は大学で専門的に学んでいく上で、また自分にあった学修を行う上で、講義とは異なる少人数かつ双方向の教育が受けられる演習形式の授業であり、重要かつ貴重な学びの機会です。また、学生同士だけでなく学生と教員がコミュニケーションを取りながら一緒に作り上げる最も大学らしい場所です。私たちはひとりでも多くの学生に自分に相応しいゼミに入り、ゼミの仲間や教員と大いに議論・討論してほしいと切に願います。自分の意見や考えを发表或し、多様な意見や価値観を聴いたり討論することはみなさんの学びをより深いものとし、就職活動（面接だけでなく集団討論のときも）やその後の職業生活にも大いに役立つことでしょう。みなさんが積極的かつ意欲的にゼミに応募することを期待しています。

後述するように、ゼミの開講パターン、学生数や活動内容は様々ですが、一般的にゼミの特徴は次のように説明できます。

- ① 講義形式ではなく、**学生と教員が話し合いながら一緒になって内容をつくりあげる少人数の演習系科目（専門応用科目）**です。ゼミによって1学年の人数が**10～20**人程度とまちまちですし、他学年と合同で実施するゼミと学年ごと実施するゼミがあります。
- ② ゼミの内容は各ゼミによって異なりますが、主な内容としては、(1)テキストを決めレジュメを作成して分担報告しながら精読する輪読、(2)学外のビジネスコンテストなど各種コンテストへの参加・発表、(3)テーマを決め、個人あるいはグループで研究する論文作成、(4)グループディスカッションやプレゼンテーション、(5)ディベート大会、(6)サマーセッションやスプリングセッションの合宿、(7)ゼミ成果発表会や合同ゼミなど学部ゼミ間の交流、(8)新歓・暑気払い・忘年会などのコンパ、(9)工場見学や企業見学、(10)OB・OG会などがあります。ゼミによって多彩ですので興味のあるゼミの活動をよく調べてください。
- ③ 講義科目とは異なって、ゼミでは学生同士および学生と教員の間での双方向のコミュニケーションが広く深く行われます。
- ④ ゼミに入るためには、ゼミ毎に行われる選考で合格しなければなりません。合格すれば「演習Ⅰ」からゼミに所属することになります（3年次4月募集のゼミを除く）。ただし、一度希望するゼミに合格したら、合格を辞退したり、別のゼミに応募し直したり、ゼミを変更することはできません。**（例えば、ゼミ応募に合格して2年生後期からゼミ（演習Ⅰ）を履修した場合、3年4月募集で応募しているゼミに入り直したいと思っても、「演習Ⅰ」の単位が取得された限り、他の演習に応募したり入り直したりすることはできません）**



## (2) 開講形態

ゼミは2年後期からはじまります。原則、すべてのゼミについて、卒業までに以下に挙げる5つの科目が開講されます。

- ①「演習Ⅰ」(2年次後期)
- ②「演習ⅡA」(3年次前期)
- ③「演習ⅡB」(3年次後期)
- ④「演習Ⅲ(卒業論文)A」(4年次前期)
- ⑤「演習Ⅲ(卒業論文)B」(4年次後期)

卒業要件に含まれる単位数は、すべてのゼミで「10単位」となります(これ以上の単位は卒業要件の単位には含まれません)。

また、すべてのゼミで「卒業論文が必修」です。

ゼミによって、上記の科目とセットで開講されるサマーセミナー、スプリングセミナーがあります。サマーセッション、スプリングセッションの開催有無については、それぞれのゼミの紹介ページの冒頭部分に明記されています。

なお、上記科目は自動登録されます。学生の都合で登録を取り消すことはできず、ゼミの表は平常点ですので、ゼミに出席しなかったり課題を提出しなかったりした場合はDまたはRの評価となります。

通常	演習Ⅰ	演習ⅡA	演習ⅡB	演習Ⅲ (卒業論文)A	演習Ⅲ (卒業論文)B
開講時期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
単位	2	2	2	2	2

## (3) ゼミの選び方

ゼミによって活動内容や開講形態は様々ですから、ゼミの課題や学習内容、ゼミ(先生)とのかかわり方、つきあい方も変わってきます。各ゼミの内容や特徴をよく理解し、自分にあったゼミを選ぶことが大切です。その際、次の点を考慮しましょう。

- ① 自分の勉強したい「テーマ/分野(興味・関心)」に合致しているか考えましょう。ゼミの

テーマ、教員の専攻/研究分野が自分にあっているかどうかは最も大切なことです。

- ② ゼミの活動内容をできる限り詳しく知って選びましょう。公開ゼミやゼミ個別ブース相談会（主催：学生委員会）を積極的に活用しましょう。
- ③ 前述したように、サマーセミナー、スプリングセミナーを行うゼミや行わないゼミがありますので、この点も考慮してください。
- ④ 担当教員とのコミュニケーションは、大学で学ぶ上でも学生生活や将来を考える上でも、みなさんにとって貴重な機会となるでしょう。2年半の間、一緒に勉強する教員についてもできる限り情報を集め、ゼミ選考の参考にしましょう。教員については、國學院大學 HP の経済学部サイトに「専任教員の紹介」でも知ることができます。

#### (4) 応募にあたっての注意

- ① みなさんが**ゼミに応募できるのは2年次の5月～7月の募集期間です**（3年次4月開講のゼミを除く）。この間に1次、2次、3次と計3回の選考が実施されます。ただし、**2次選考から、募集するゼミが限定されるので注意してください**。1次選考から積極的に応募するようにしましょう。
- ② **各ゼミで受け入れる学科・コースが指定**されています。多くのゼミが経済学科、経営学科どちらの学生も受け入れが可能となっていますが、経済学科の学生のみ、経営学科の学生のみという演習も少数ですが有りますので注意してください。
- ③ 各ゼミで「**学部指定修得済み科目**」、「**ゼミ指定必須科目**」**履修しておくことが望ましい科目**が記載されています。「学部指定修得済み科目」は経済学部の必修科目・義務履修科目で、多くのゼミが4科目（日本の経済、基礎演習 A、基礎演習 B、コンピュータと情報）の単位を取っていることが応募の条件になっています。「ゼミ指定必須科目」は、ゼミ担当教員ごとに指定する科目で、ゼミ応募までに単位の修得が求められる、ないし2年次前期の履修が求められる科目です。「履修しておくことが望ましい科目」はこれまでに履修したことがある、または前期で履修していることが望ましい科目です。ただし、当該科目の履修抽選に落ちてしまった場合はその限りではありません。
- ④ 2年次3月から3年次4月初旬あたりにもゼミの募集・選考があり、「演習 I」を履修していない学生は応募できますが、ごくわずかなゼミしか募集しません（新しく着任する先生、派遣研究から戻る先生、追加募集を行う先生のゼミなど）。ですから、1次選考から積極的に応募するようにしましょう。
- ⑤ **ゼミの選考に合格した後で、合格を辞退することはできません**。1つのゼミに合格すると、他のゼミの2次選考に応募できませんので、よく考えて応募しましょう。
- ⑥ 合格した時点で「演習 I」（サマーセミナー、スプリングセミナーを開講するゼミについてはそれらの科目も含む）が**自動的に履修登録**されます。また、**2年次の履修単位制限（42単位）にも含まれます**ので注意しましょう。

#### (5) その他

令和7年度4月から着任する（もしくは派遣研究から戻る）教員がいる場合、令和7年4月に開講されるゼミの募集がある可能性があります。現時点でどのゼミが開講するかは未定です。「演習 I」で単位を取得した学生は応募することができません。募集がある場合には改めてホームページ上でお知らせします（令和7年3月上旬～中旬を予定）。

## 【一括登録の注意点】

ゼミは合格すると演習Ⅰ以降の全ての演習科目が開講パターンに応じて一括登録（サマーセミナー、スプリングセミナーも含む）されます。演習Ⅰの単位を修得し、演習Ⅱ以降の履修を取り消そうとしても演習Ⅰの合格時に全ての演習科目が登録済みです。履修修正でも取り消せません。年次履修上限の42単位に含まれてしまいます。そのため、演習Ⅱの時間帯に他の科目を履修することもできません。なお、演習Ⅰの成績評価で不合格（DまたはR）である場合、以降については、以降の科目の自動登録が消去されます。

## (6) よくある質問Q&A

### ■2年次の“留年”に関して

Q：2年次に進級制限のため留年してしまいました。ゼミの扱いはどうなりますか。

A：①1回目の2年次に「演習Ⅰ」に合格しなかった、または単位を修得しなかった場合、2回目の2年次に、もう一度、「演習Ⅰ」の1次選考から応募できます。

②1回目の2年次に「演習Ⅰ」の単位を修得した場合、3年生に進級した年度に「演習Ⅰ」と同じゼミの「演習ⅡA・B」が登録されます。

### ■2年次前期からの“休学”について

Q：2年次前期から（半年間または1年間）留学したいのですが、「演習Ⅰ」に応募できますか。

A：内容によります。経済学部教務委員会（shoji【at】kokugakuin.ac.jp）まで、必ず申し出てください（【at】は@に代えてください）。

※なお、令和6年度2年次に1年間留学すると3年に進級できないため、翌年令和7年度に「演習Ⅰ」の応募をすることになります。

### ■ゼミ所属学生の休学について

ゼミに在籍している学生が休学する場合は、休学届に必要な事項を記入して提出しなければなりません。その中には、指導教員の署名が必要となりますので、**必ず指導教員と事前に面談を行い、署名をもらったうえで**、前期の場合は6月末日、後期の場合は12月末日（いずれも教務課窓口が空いている日）までに余裕を持って提出してください。

参考までに、休学願の書式は以下の通りです。

國學院大學学長殿

**休 学 願**

私は下記により休学いたしたく、保証人連署をもって休学願を提出いたします。  
 ※ご記入いただいた個人情報、休学の手続きに関する対応以外の目的では利用いたしません。

本人記入欄 (※必ず学生本人が自書すること)	所 属	学部		学科		年 組		
	フリガナ		Ⓧ		生年月日	昭和・平成	年 月 日	
	氏 名				学籍番号			
	現住所		〒 — Tel ( ) Mail					
	理 由		該当する理由をチェック (☑) し、休学理由の詳細を裏面にご記入ください。 <input type="checkbox"/> 修学意欲の低下 <input type="checkbox"/> 進路変更 (他の教育機関への入学・転学・編入学) <input type="checkbox"/> 進路変更 (就職) <input type="checkbox"/> 経済的困窮 <input type="checkbox"/> 学力不足 <input type="checkbox"/> 身体疾患※1 <input type="checkbox"/> 心神耗弱※1 ※1 休学を要する期間の記載がある診断書を必ず添付してください。 <input type="checkbox"/> 海外留学※2    ※2 裏面下部に留学詳細をご記入ください。 <input type="checkbox"/> その他					
休学期間		該当する休学期間にチェック (☑) を入れてください。 <input type="checkbox"/> 前期 (令和 年 4 月 1 日～令和 年 9 月 30 日)    提出期限：6 月末日 <input type="checkbox"/> 後期 (令和 年 10 月 1 日～令和 年 3 月 31 日)    提出期限：12 月末日 <input type="checkbox"/> 通年 (令和 年 4 月 1 日～令和 年 3 月 31 日)    提出期限：6 月末日						

保証人記入欄	氏 名	Ⓧ ※学生本人とは異なる印鑑をご使用ください。	
	現住所	〒 — Tel ( ) Mail	

【注 意】保証人とは、大学届出の保証人です。K-SMAPYIIにご登録のある方がご記入ください。  
 保証人記入欄は保証人ご自身が自書してください。学生本人欄と筆跡・印影が同一または酷似しているものは受理できません。本人住所・保証人情報は、大学に登録されている住所・情報をご記入ください。

奨学生記入欄	該 当	該当する場合： 現在受給中 ・ 過去に受給していた	
	無	※具体的な奨学金名 ① 高等教育の修学支援制度(給付型)    ② 日本学生支援機構奨学金(貸与型) ③ その他 ( )	

- 【休学及び提出の注意事項】
- (1) 休学期間は年度・学期を単位とし、年度を越えることはできません。
  - (2) 休学の継続を希望する場合は、改めて「休学願」を提出してください。休学継続の手続きが行われず休学期間が満了した場合は、自動的に復学となります。
  - (3) 休学期間は通算して3年間(6セメスター)までとし、在学期間に算入しません。
  - (4) 所属学部の教授会にて審議を行い休学の可否を決定します。審議の結果、休学が承認されない場合もあります。
  - (5) 学費等納付金は、休学期間が通年の場合には、授業料、施設設備費及び維持運営費の全額を免除し、休学期間が前期又は後期の場合には、授業料及び施設設備費の半額、維持運営費の全額を免除します。ただし、休学期間中は休学在籍料(休学期間が通年の場合は100,000円、休学期間が前期又は後期の場合は50,000円)を納入しなければなりません。また、別途諸費がかかることがあります。

〔教務課記入欄〕

提出区分	〔 郵送・持参 〕〔 本人・保証人・代理人： 〕		在 学 年 数	( ) セメスター
受 理 日	令和 年 月 日	受 理 (受理者： )	累積休学年数	年
出 身 校			教務課長	教務課
入 学 年 度	年度	制度：		学生生活課
直近在学期得単位数	年度	単位	GPA：	
累積取得済単位数	前期・後期 終了時点	単位	GPA：	

- 具体的な休学理由をご記入ください。  
なお、休学理由の詳細が記載されていない場合、「休学願」を受理できません。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**【経済学部生のみ】**

復学後の『専門演習』の履修について、希望する方を○で囲ったうえで、担当教員より署名をもらってください。

教員署名

※「辞退」した場合には、「卒業レポート演習」が必修となり、学科専門科目の要卒単位数が変わります。なお、「卒業レポート演習」へは自動で変更となりますので、復学後の手続きは不要です。

※『専門演習』の「演習Ⅰ～ⅢA・B」に所属していない学生は、記入は不要です。

休学理由が海外留学の方は、以下の項目もご記入ください。

【国名】

【学校名】

【留学（在学）期間】

（自） 令和            年            月            日～

（至） 令和            年            月            日            （            週）

■編入生、転部生、再入学生のゼミ応募について

Q：編入（転部、再入学）により3年生になりますが、ゼミに応募できますか。

A：3年時の受入れを認めているゼミに応募できます。

■その他

Q：2年次の演習Ⅰに合格して単位を修得しましたが、演習Ⅱから他のゼミに移籍したいのですが、移籍できますか。

A：移籍できません。

Q：一度不合格になったゼミは2次以降の選考に応募することはできますか。

A：できません。

Q：ゼミ応募の際、課題は提出したのですがK-SMAPYⅡでの登録を忘れました。応募は認められますか。

A：認められません。

以上について、不明な点や質問等があれば、経済学部教務委員会 (shoji【at】kokugakuin. ac. jp) まで連絡して下さい（【at】は@に代えてください）。

#### ④ 演習別「コース選択」一覧

	経済学科					経営学科			指定 なし
	経済理論とデータ分析コース	経済史コース	地域経済コース	日本経済コース	グローバル経済コース	ビジネスリーダーコース	ビジネスクリエイターコース	ビジネスアナリストコース	
大西祥恵			○	○		○			
小木曾道夫									○
尾近裕幸									○
尾崎麻弥子		○			○			○	
小野正人						○	○	○	
木村秀史									○
櫻井潤			○	○		○			
東海林孝一									○
杉山里枝									○
高木康順									○
高橋克秀									○
田原裕子			○	○		○			
中馬祥子									○
辻和洋			○			○	○		
手塚貞治									○
中泉真樹									○
中田有祐	○					○		○	
根岸毅宏			○	○		○			
芳賀英明	○					○	○		
濱田高彰	○			○				○	
林行成									○
藤山圭	○						○	○	
星野広和									○
細井長					○	○			
細谷圭	○			○				○	
水無田気流			○	○			○		
宮下雄治				○			○	○	
山本健太			○	○		○			

## ⑤選考方法一覧

教員名	面接の有無	提出課題詳細	提出方法
大西 祥恵	面接(あり)※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容：労働市場において不利な立場にある人たちについて、テーマとしたい内容を調べて報告してもらいます。テーマについて必ず論文か文献(ネット上の短い記事やブログは不可)を調べ、調べた内容とそれをテーマとしたいと考えた理由をワー ドファイルに記載したものを提出してください (A4、1 枚程 度)。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ (3) は、面接時に提出
小木曾 道夫	面接(あり)※ ありの際は教員 より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※ogiso@kokugakuin.ac.jp 宛てメー ルの本文で提出 課題内容：小木曾担当の3年前期「演習ⅡA」を履修した場合 の研究テーマ案を全角16字以内で書く。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
尾近 裕幸	面接(あり・オン ライン面接) ※ありの際は 教員より個別 連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) : 面接時に提出 小学生校、中学校、高校、そして大学までの学習歴について説明 してください。あわせて大学での成績表の写しを提出してくだ さい。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
尾崎 麻弥子	面接(あり対面 またはZoom) ※ありの際は教 員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容：最近関心を持った事柄に関する新書(岩波新書、中 公新書 etc)を1冊読み、その内容の要約と感想(1500 字程度) を書いたレポートを提出。(ワード形式、書式自由)	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
小野 正人	面接(あり、 Zoom 形式*) ※面接日程は教 員より応募者に メール連絡しま す。	※経営学科の学生のみ応募可能です。 面接に出席しない場合は不合格になります。 (1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) : 以下の項目を指定された字数の通り 記述し、Word で A4 縦 1 ページにまとめてメールで提出してく ださい。 提出先メールアドレス：masaono (アットマーク) kokugakuinn.ac.jp	K-SMAPY II 「アンケート 機能」により(1)と (2)を提出。 (3)は教員に面接ま でにメールで送信。



		①メールアドレス、出身高校、本学入学に利用した入試制度、GPA と取得単位数 (1 年次)、②國學院大學への入学動機、経営学科を選んだ理由 (200 字以上)、③大学入学後に興味を持って読んだ本とその所感 (200 字以上)、④関心のある会社とその理由、問題意識 (200 字以上)。	
木村秀史	面接 (あり・zoom による面接) ※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ①最新の成績表 (PDF などファイル形式で) ②面接までにゼミのテーマに関連する書籍を 1 冊読んでおいてください。面接時に本の内容について概要を説明してもらった後に簡単なディスカッションを行います。	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ  (3) の①と②は、面接時に確認するので用意しておいてください。
櫻井潤	面接 (あり) ※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※ <b>応募期間内</b> にメールで提出 課題内容：地域における経済社会問題の中から特に勉強したい分野を 1 つ選び、①自分にとって身近な市区町村における「地域問題」の具体的な内容と、②その問題を解決するために「地方公共団体が行っている活動」についてまとめてください <b>(①・②をあわせて 600 字程度、ワードファイル 1 ページ、表紙不要、参考文献一覧を必ず示す)。</b>	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
東海林孝一	面接 (あり) ※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容：①「管理会計」とは何か、具体的な内容に言及して 800 字程度にまとめて下さい。また「管理会計」を学ぶことが、自分の将来設計にどのように役立つのかについても言及してください。②成績通知書も事前に添付ファイルで送ること	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
杉山里枝	面接 (あり) ※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出 課題内容：明治期から現代にかけての日本の企業家の中で関心のある人物を 1 名選び、400 字以内でまとめてください。(ワード形式、書式自由)	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ
高木康順	面接 (あり・Zoom 利用予定) ※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり)	K-SMAPY II 「アンケート機能」 (1) (2) のみ

		<p>課題内容：(1)自己紹介に、経済経営数学入門、統計入門、経済理論入門の成績を明記すること。(2)ゼミを希望する理由に(1)の入門3科目の自己評価を含めること。</p> <p>希望者が20名に満たないときは(1)(2)が満たされているものを合格とし、面接は実施しない。希望者が20名を超えた場合、『日本の経済』第5章図5.3をExcelを用いて作成したグラフをZoom面接時に共有して、データ出所・手法・グラフから読み取れることについて説明してもらう。</p>	
高橋 克秀	<p>面接(あり・なし)※ありの際は教員より個別連絡</p>	<p>(1) 自己紹介 (200字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出</p> <p>課題内容：あなたに関心を持っている具体的なデータ(経済、社会、選挙、スポーツ、感染症、芸術、グルメ、ファッション、観光など分野はなんでもOK)について、なぜそのデータが面白いとおもうのか、分析すると何がわかりそうか(漠然とした予想でよい)、など自由に論じてください。書式自由、文字数制限なし、グラフィックも歓迎。</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アケート機能」</p> <p>(1) (2)のみ</p>
田原 裕子	<p>面接(あり)※ありの際は教員より個別連絡</p>	<p>(1) 自己紹介 (200字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※(応募期間内に) 教員のメールアドレスに提出</p> <p>社会保障やまちづくりに関することで興味のあることについて400字程度でまとめてください。</p> <p>なお、ゼミの雰囲気を知っていただくため、公開ゼミ、またはゼミ説明会のいずれかに必ず参加してください。</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アケート機能」</p> <p>(1) (2)のみ</p> <p>(3)は、教員のメールアドレス宛に送ること。</p>
中馬 祥子	<p>面接(あり)※5月23日(木)お昼休みを予定しています。詳細は教員より個別連絡</p>	<p>(1) 自己紹介 (200字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり)</p> <p>過去3年の「新聞の社説」の中から自分の興味あるテーマを取り上げ、その内容を簡潔にまとめた上で、社説に対する自分の意見を1,200字以内で述べよ。なお、社説の記事はウェブ上から探し、そのURLを必ず記載すること。記載がない場合は、審査の対象外とする。また、選んだ社説のテーマそのものも、ゼミの内容との適合性について判断する材料となるので、注意深く選択すること。書式は自由であるが、氏名、学科、学籍番号を明記の上、A4一枚に収まるようにページ設定をすること。</p> <p>(4) 最新の成績表(GPAや総取得単位数が明示されているもの)。PDFまたはJPEGファイルにすること。</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アケート機能」</p> <p>(1) (2)のみ</p> <p>(3) (4)は、教員のメールアドレス宛に送ること。</p>

辻 和洋	面接(あり)※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※①、②、③を選考期間開始日までに所定の提出先に提出 (①、②は文字数指定なし。応募者多数の場合は最初に書類選考。①、②の書類及び③の提出先は応募期間締め切り後、応募者宛に一斉にメールで送ります) ①これから自分が研究してみたい関心のあるテーマについてワードファイルにまとめてください (私の専門分野に故意に合わせる必要はありません。本当に探究してみたいことを記入してください)、②大学卒業時にどのような知識、スキル、思考力を身につけていきたいか、目標とする自分像をまとめてください、③最新の成績表 (GPA や総取得単位数が明示されているもの) を PDF または JPEG ファイルで送ってください	K-SMAPY II 「アウト機能」 (1) (2) のみ (3) は、後日メールにて指定される提出先に提出
手塚 貞治	面接(あり)※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※教員のメールアドレス宛に送付してください 課題: ①経営戦略分野で学んだことを 400 字以内でまとめてください ②成績表を提出してください (画像でも OK)	K-SMAPY II 「アウト機能」 (1) (2) のみ
中泉 真樹	面接(筆記試験の予定)※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (なし) 筆記試験日時は 5 月 25 日(土) 5 時限を予定。入ゼミ希望の方は他の予定を入れなくてください。教室は後に連絡。	K-SMAPY II 「アウト機能」 (1) (2) のみ
中田 有祐	面接(あり)※ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200 字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400 字以内) (3) 教員任意課題 (あり) ※面接前にメール提出 課題内容: 企業の出来事や会計・財務・経営関連の事柄をテーマとしたニュース/新聞記事/雑誌記事を 1 つ取り上げ、考察を示してください。(800 字以内。ゼミの分野を踏まえて記事を選定すること。記事の概要は不要だが、記事の出所・URL 等を示すこと。) 併せて、成績表の提出も求めます。1 年次の取得単位と GPA、2 年次の履修科目が分かるものをメール添付で提出してください。 ※面接日程の調整、(3) 教員任意課題と成績表提出の切について、応募時の記載アドレス宛にメールを送ります。必ず確認してください。	K-SMAPY II 「アウト機能」 (1) (2) のみ (3) 教員任意課題と成績表を面接前にメール提出

根岸 毅宏	面接 (あり) ※ ありの際は教員 より個別連絡	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり)</p> <p>①成績を提出してください。</p> <p>②あなたが気になる経済社会問題について、「その内容と気になる理由」を 600 字程度で記述してください。参考文献は必ず明記すること。</p> <p>③公開ゼミ、個別ブース説明会に参加した感想。</p>	K-SMAPY II 「アケート機能」 (1) (2) のみ  (3) は教員のメールアドレスに提出
芳賀 英明	面接 (あり) ※ ありの際は教員 より個別連絡	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※事前にメールで提出</p> <p>ゼミ独自のエントリーシート((1)および(2)を含んだマーケティングに関する質問事項を中心に Word 形式で 2 ページのもの)があるので、事前に④の教員連絡先一覧に書かれたメールアドレス宛にご連絡ください。エントリーシートを添付して返信いたします。</p> <p>エントリーシートを記入後、それと共に成績表のコピー(これまでの取得単位と 1 年次の累積 GPA が掲載されたもの)を PDF 化ないし写真データのいずれかの方法で担当教員のメールアドレス宛に添付して提出してください。</p> <p>その際、自己アピールとして利用できる資料や動画などの提出を歓迎します(任意)。過去(大学生の時だけでなく、高校生の時まで遡っても良い)に関わったプロジェクトの成果物、学術的な作品、またはその他の作品などを自由にお送りください。提出形式については特に制限はありませんが、提出をした際はエントリーシートの最後の部分に「いつ、どこで、誰が、何を、どのように」といったことについて記載をする枠があるのでそちらを忘れずに記述をしてください。</p>	K-SMAPY II 「アケート機能」 (1) (2) のみ  (3) は教員のメールアドレスに提出
濱田 高彰	面接 (あり) ※ ありの際は教員 より個別連絡	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) *教員のメールアドレスに提出</p> <p>以下の①②を 1 つのファイルにまとめて提出してください：</p> <p>①ゲーム理論または行動経済学を用いて分析してみたい身近な現象または社会現象についてまとめてください。ただし、その現象がゲーム理論や行動経済学の分析対象であると考えられる理由についても説明してください。(1000 字程度)</p> <p>②最新の成績表 (GPA および総取得単位数がわかるもの)</p>	-SMAPY II 「アケート機能」 (1) (2) のみ  (3) は教員のメールアドレスに提出

林 行成		<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり)</p> <p>①社会保障の問題について関心のあるテーマを 1 つ挙げ、経済学的な問題としてどのように捉えるべきか、自身の考えも含め、800 字程度でまとめなさい。</p> <p>②1 年次の成績表 (取得単位数、GPA がわかるもの)</p> <p>※①と②を 1 つにまとめて提出してください。</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アンケート機能」</p> <p>(1) (2) のみ</p> <p>(3) は教員のメールアドレスに提出</p>
藤山 圭	<p>面接 (あり) ※ありの際は教員より個別連絡</p>	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※面接時に提出</p> <p>課題内容:①経営に関連する社会現象を一つ取り上げ、1000 字以内で自分なりの考察を示してください (なお、取り上げる現象はなんでも構いませんが、その現象をどのように見て、どのような問いを立て、どのようにアプローチをしようとするのか、ということを藤山は見ます)。</p> <p>②400 字以内で自分の人となりが分かることを何でもいいので書いてください。趣味でも好きなことでも特技でもなんでもいいです。</p> <p>③ゼミに入ったとしたら、ゼミに何を求めますか。400 字以内で書いてください。なお、無理に真面目に振舞ったり良く見せようとしたりする必要はありません。率直にあなた自身がわかるような文章を書いてください。</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アンケート機能」</p> <p>(1) (2) のみ</p> <p>教員任意課題は word 形式でまとめたものを面接日までにメールで提出</p>
星野 広和	<p>面接 (あり) ※ありの際は教員より個別連絡</p>	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※Microsoft 「Forms」に提出 ( <a href="https://forms.office.com/r/a3JSza1snB">https://forms.office.com/r/a3JSza1snB</a> ) (←ゼミ説明文に QR コードあり)。面接でも質問するので内容を読んでおくこと。</p> <p>課題内容:以下の論文*のどちらか一つを読み、内容を参照しつつ、「私がゼミで学ぶ理由」について 400 字以上 (最大 1,000 字程度) で述べなさい (Word 形式)。*論文は下記論文タイトルまたは Google Scholar からダウンロードできる。</p> <p>A)楠木建 (1995)「<a href="#">大学での知的トレーニング : アタマがナマっている人へのメッセージ</a>」『一橋論叢』第 113 巻第 4 号, pp.399-419.</p> <p>B)青島矢一(1997)「<a href="#">『社会科学を学ぶことがどうして将来役立つのか』について考えたこと</a>」『一橋論叢』第 117 巻第 4 号, pp.537-556.</p> <p>また、成績表 (1 年終了時の GPA と修得単位数がわかるもの) をエントリーフォームに提出すること。</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アンケート機能」</p> <p>(1) (2) のみ</p> <p>※ (3) は Forms にて期日まで提出</p>
細井 長	<p>面接 (あり) ※ありの際は教員より個別連絡</p>	<p>(1) 自己紹介 (200 字以内)</p> <p>(2) ゼミを希望する理由 (400 字以内)</p> <p>(3) 教員任意課題 (あり) ※事前にメールで提出</p> <p>課題内容:ゼミ紹介の本文に詳細を書いています</p>	<p>K-SMAPY II</p> <p>「アンケート機能」</p> <p>(1) (2) のみ</p>

			(3)は指定日時までにメールで送付してもらいます。
細谷 圭	面接(あり)※ ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400字以内) (3) 教員任意課題(あり)※面接時 課題内容:面接の際に、ゼミテーマに密接に関係する書籍を一冊持参し、内容を私に教えてください。難易不問、ボリューム不問、新書でも構いません。	K-SMAPY II 「アケト機能」 (1) (2)のみ
水無田 気流	面接(あり)※ ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400字以内) (3) 教員任意課題(あり)※面接時に提出 課題内容:「『ダイバーシティ (diversity、多様性)』について説明した上で、日本でダイバーシティの推進が困難とされる要因について分析し、ダイバーシティ推進が今後の日本社会にとって良い影響をもたらすのか、それとも悪い影響をもたらすのか(全面的にではなく、部分的に良い点と悪い点がある等でも可)について考察し、あなた自身の考えを述べ、その理由を書いてください。」 (2000字目安・上限は問わない)	K-SMAPY II 「アケト機能」 (1) (2)のみ (3)は指定日時までに教員のメールアドレスに送付
宮下 雄治	面接(あり)※ ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400字以内) (3) 教員任意課題(あり)※面接時に提出 課題内容:ゼミテーマに関連する書籍を1冊読み、その要約とあなたの意見や感想をまとめてください(書式・文字数自由)	K-SMAPY II 「アケト機能」 (1) (2)のみ
山本 健太	面接(なし)※ ありの際は教員より個別連絡	(1) 自己紹介 (200字以内) (2) ゼミを希望する理由 (400字以内) (3) 教員任意課題(あり)※メールで提出 課題内容:実家のある地域の名物や有名な祭りなどを1つ取り上げ、それがなぜその地域で起こり、発展してきたのか、地域の気象条件や地形、歴史的過程など、関連する様々な観点を交えて理由を説明せよ。引用文献のあるものは、引用箇所がわかるようにし、引用文献リストを付すこと。参考文献を付す場合は参考箇所がわかるようにすること。提出されたレポートについて、論理展開、地理的思考力、レポート作成のルール等、総合的に判断をする。	K-SMAPY II 「アケト機能」 (1) (2)のみ

【注意点】

※1 不切を過ぎたものは一切受理しないので注意すること。

※2 教員により(3)の任意課題が異なるのでよく確認すること。

※3 必ず K-SMAPY II の「アンケート」で自己紹介、希望のゼミを登録、志望動機を記入して下さい。  
課題のみを提出しても無効となります。

⑥公開ゼミ日時一覧			
教員名	日時	方式	注意事項
大西 祥恵	5月14日(火) 4限(4年生演習ⅢA) 5限(3年生演習ⅡA)	対面(3407教室)	入退室自由、予約不要、質問歓迎です。
小木曾 道夫	5月9日、5月16日(木) 5時限(3年生演習ⅡA)の予定	対面(3308教室)	入退室自由、予約不要です。
尾近 裕幸	5月10日(金) 5時限 [4年生演習Ⅲ(A)の授業]	対面(3406教室)	
尾崎 麻弥子	5月17日(金) 5時限(3年生演習ⅡA)	対面(3301教室)	入退室自由、予約不要です。
小野 正人	5月14日(火) 4限(3年生演習Ⅱ) 5月14日(火) 5限(4年生演習Ⅲ) ※できる限り4限に参加してください。	対面(3305教室)	入退室自由、予約不要です。
木村 秀史			
櫻井 潤	5月9日(木) 14:30~16:00 ; 16:10~17:40 5月16日(木) 14:30~16:00 ; 16:10~17:40	対面(3306教室)	入退室自由、予約不要、質問できます
東海林 孝一	5月10日(金) 4限および5限 5月17日(金) 4限および5限 授業開始から40分間程度 (各曜時内容が異なりますが、いずれか1つ参加してもらえれば概要は分かります)	対面(3305教室)	入退出自由、予約不要、質問歓迎
杉山 里枝	5月9日(木) 5限 16:10-17:40 5月16日(木) 5限 16:10-17:40	対面(3305教室)	入退出自由、予約不要
高木 康順	5月9日(木) 16:10~17:40	Zoom 配信	オンライン時のパスコードと録画URLはメールで申請してください。
高橋 克秀	5月9日(木) 5限	対面 コンピュータ教室5(AMC)	予約不要、出入り自由
田原 裕子	5月14日(火) 4限、5限(5限はゲスト講義なので入退室や聴講に際して失礼のないように注意)	対面(3405教室)	入退室自由 予約は不要。

中馬 祥子	5月14日(火) 5限	対面 (3301 教室)	入退室自由、予約不要ですが、いらしたら、ドアのそばにある紙に、お名前をお書き下さい。質問も歓迎します。
辻 和洋	5月17日(金) 4限、5限	対面 (4限 3304 教室、5限 3311 教室)	4限は要予約。先着18名に体験参加してもらいます。19名以降に予約した場合は見学。5/10正午までに下記のURLにて参加予約してください。 <a href="https://forms.gle/fcYqJ8yuGfRBdoYB6">https://forms.gle/fcYqJ8yuGfRBdoYB6</a> 5限は予約不要。
手塚 貞治	5月10日(金) 16:10~17:40 5月17日(金) 16:10~17:40	対面 (3307 教室)	入退室自由、予約不要
中泉 真樹	5月9日(木) 16:10~17:40 5月15日(木) 16:10~17:40	対面 (3304 教室)	入退室自由、予約不要
中田 有祐	①5/10(金) 14:50~15:50、16:10~17:10 ②5/17(金) 16:10~17:10、17:50~18:50	対面 (1201 教室)	入退室自由、予約不要
根岸 毅宏	・5月13日(月) 10:30-12:00 ・5月20日(月) 10:30-12:00	対面 (3305 教室)	入退室自由、質問歓迎です。
芳賀 英明	①5月9日(木)5限 ②5月16日(木)5限	対面 (3311 教室)	入退室自由、予約不要。 お気軽にお越しください。
濱田 高彰	5月13日(月)5限 5月20日(月)5限	対面 (3304 教室)	入退室自由、予約不要。質問も歓迎です(5/13は全体発表、5/20は準備回ですので、5/20の方が質問しやすいです)。



林 行成	5月9日(木)5限 5月16日(木)5限	対面(3307教室)	入退室自由、予約不要。
藤山 圭	5月10日(金)6限 5月17日(金)6限	対面(3306教室)	入退室自由、予約不要
星野 広和	5月13日(月)5限 5月20日(月)4限	対面(6B21教室)	入退室自由。見学を希望する場合は、事前にメールで連絡してください。
細井 長	5月14日(火)5限	対面(3304教室)	事前連絡不要。途中入退室はご遠慮ください。
細谷 圭	5月14日(火)5限	対面(3306教室)	入退室自由
水無田 気流	5月9日(木)5限 5月16日(木)5限	対面(3301教室)	入退室自由 予約不要
宮下 雄治	5月13日(月)4限(3年ゼミ:なるべくこちら) 5月13日(月)3限(4年ゼミ:4限が無理な方)	対面(3306教室)	入退出自由 予約不要
山本 健太	5月9日(木)5限 5月16日(木)5限	対面(3305教室)	入退室自由 予約不要

**【注意点】**

・日時や配信形式に変更があった場合は大学 HP に掲載します。公開ゼミに参加する前に必ず確認して下さい。

・オンライン (Zoom) の公開ゼミに参加する際は、教員によって事前にメールで連絡する必要があります。上記注意事項を確認してください。

・教員がメールを確認後、公開ゼミの URL、ID、PW の連絡をします。

⑦ 教員の連絡先一覧

教員名	メールアドレス	備考
大西 祥恵	yoshie-o__at__kokugakuin.ac.jp	
小木曾 道夫	ogiso__at__kokugakuin.ac.jp	
尾近 裕幸	okon__at__kokugakuin.ac.jp	
尾崎 麻弥子	mayaozaki__at__kokugakuin.ac.jp	
小野 正人	masaono__at__kokugakuin.ac.jp	
木村 秀史	s-kimura__at__kokugakuin.ac.jp	
櫻井 潤	jsakurai__at__kokugakuin.ac.jp	
東海林 孝一	shoji__at__kokugakuin.ac.jp	
杉山 里枝	rishii__at__kokugakuin.ac.jp	
高木 康順	takagi__at__kokugakuin.ac.jp	
高橋 克秀	taka8664__at__kokugakuin.ac.jp	
田原 裕子	ytahara__at__kokugakuin.ac.jp	
中馬 祥子	chuma__at__kokugakuin.ac.jp	
辻 和洋	kaz.tsuji__at__kokugakuin.ac.jp	
手塚貞治	tezuka.sadaharu__at__kokugakuin.ac.jp	
中泉 真樹	nmaki__at__kokugakuin.ac.jp	
中田 有祐	nakata_yusuke__at__kokugakuin.ac.j	
根岸 毅宏	negishi__at__kokugakuin.ac.jp	
芳賀 英明	hhaga__at__kokugakuin.ac.jp	
濱田 高彰	hamada__at__kokugakuin.ac.jp	
林 行成	y-hayashi__at__kokugakuin.ac.jp	
藤山 圭	k.fujiyama__at__kokugakuin.ac.jp	
星野 広和	hoshino-h__at__kokugakuin.ac.jp	
細井 長	hosonaga__at__kokugakuin.ac.jp	
細谷 圭	khosoya__at__kokugakuin.ac.jp	
水無田 気流	kiruminashita__at__kokugakuin.ac.jp	
宮下 雄治	y.miyashita__at__kokugakuin.ac.jp	
山本 健太	kenta__at__kokugakuin.ac.jp	

※\_\_at\_\_は「@」に置き換えてください。

※教員にメールを送る際は、大学の@kokugakuin.ac.jpのメールアドレスから送るか、またはメールの件名を明確に記載してください。

## ⑧ 募集ゼミ内容紹介

先生方にゼミのご紹介をしていただくにあたって、以下の質問項目について伺いました。

(※該当する項目のみ、回答していただいております。)

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A				
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B				

- (1) テーマ
- (2) キーワード
- (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)
- (4) 演習Ⅳ以外で論文などを課す場合の詳細 (枚数や時期など)
- (5) 先輩たちの主な就職先と傾向
- (6) 教員について(自己紹介等)
- (7) その他

## 大西祥恵 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ	演習Ⅰ	演習Ⅱ	演習Ⅱ	演習Ⅲ
サマセ	スプセ	サマセ	スプセ	サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			社会政策論	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			労働経済	

3年(男)	13人	3年(女)	4人	4年(男)	11人	4年(女)	3人
-------	-----	-------	----	-------	-----	-------	----

### (1) テーマ

「労働」について、どのようなイメージをもっていますか？ 「労働は商品ではない」は、1944年5月にILO (International Labour Organization, 国際労働機関) で採択されたフィラデルフィア宣言のなかの一文です。労働は経済学のなかで取りあげられる要素の1つですが、生きている人間を扱う点で他と異なっており、そのためにさまざまなルールが必要です。

人は労働を通して社会とつながることも多く、労働はその人の生活にも関係してきます。例えば、仕事が不安定であれば生活にも影響がでますし、仕事を失えば失業問題に直面します。

ゼミではこうしたことについて、もっとも厳しい状況に追いやられがちな社会的に不利な立場の人たちの視点から捉え、日本社会について研究していきます。そのためこのゼミで充実した学びを得ようとするのであれば、社会の問題に高い関心をもっていただくことになります。

### (2) キーワード

「労働」、「失業」、「社会政策」、「貧困」、「社会的排除」、「マイノリティ」

とりわけ、ふだん見過ごされてしまいがちなさまざまな実態や課題に着目することを通して、社会の現実に迫りたいと思います。

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミへの応募をされる場合、原則として以下に書かれているゼミでの学修に参加することに合意したものとみなします。合意されない場合、ゼミへの応募はできません。ゼミで勉強のために実施される取り組みには、原則参加できることも応募の条件とします。

勉強以外にも大切なことはたくさんありますが、とはいえ勉強も大切ですので、ゼミでの学修を希望されるなら、勉強に多くの時間をさいていただく必要があります。

「講義型科目の履修」

教員が担当している講義型の科目で議論されることは、ゼミでの学びと深い関係があります。そのため、できるかぎり「労働経済」、「社会政策論」を履修していただければと思います。

#### 「演習Ⅰ」(2年生後期)

文献などの課題をゼミ生で分担して報告してもらい、それを受けてのディスカッションを行います。ゼミでの勉強が1人で行う勉強と違うのは、ゼミ生同士での話し合いを通して初めて気づかされることがあったり、1人ではいきつかなかった結論にたどりついたりすることではないでしょうか。ゼミでの勉強を通して自身のテーマを決め、それについて調べたことをレポートにして提出してもらいます。また、社会の現実について学ぶために、フィールド・ワークを行うこともあります。

#### 「夏合宿」(3年生の夏休み、サマセではありません)

それまでの研究をもとにお互いに報告し、それを受けてのディスカッションを行います。また、フィールド・ワークを行います。

#### 「演習ⅡA・B」(3年生)

前半は、自身のテーマについてさらに調べたことを、ゼミで報告してもらいます。そしてどういう問いを立てて研究を深めていけばいいのかについて、ディスカッションを行います。

後半は、前半に立てた問いに対してご自身の見解を報告してもらい、ディスカッションで議論を深めたうえで、どのような結論を導くのかを検討します。それをレポートにして、提出してもらいます。また、社会の現実について学ぶために、フィールド・ワークを行うこともあります。

#### 「演習ⅢA・B」(4年生)

自身の研究について論理的に結論を導き出していくよう、さらに検討を加えていきます。そしてそれを卒業論文にまとめていきます。

#### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

提出締切：1月下旬、2年後期「演習Ⅰ」2000字以上、3年「演習ⅡB」4000字以上

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

先輩たちの就職先としてIT関係、流通、運輸、建設、不動産、販売、保険、メーカー、人材派遣、金融、製薬、公務員などがあります。とくに傾向があるわけではありませんが、それぞれに自身の将来のことを真剣に考えて進路を決定していきました。就職にかんしては、実際に働いてみないとわからないことがあることを理解したうえで、大学を卒業する時点で自身はどうしたいのかを考える必要があります。そのためにまずは自身についてできるだけ客観的にとらえることと、社会にはどのような活躍の場があるのかをしっかりと学ぶのが大事なように思います。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

大学2年生のとき、社会の現実にかかわる仕事をしたいと思って研究職を志しました。ゼミのメンバーのみなさんと、このメンバーならではの仲間づくりや勉強がしていければと思います。



## 小木曾道夫 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
—	—	—	—	—

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A				
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年(男)	15人	3年(女)	1人	4年(男)	10人	4年(女)	2人
-------	-----	-------	----	-------	-----	-------	----

### (1) テーマ

組織と集合行動の自己生産

### (2) キーワード

組織、集合行動、自己生産

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年後期の「演習Ⅰ」では、バーナード著 山本安次郎・田杉競・飯野春樹訳(1968)『新訳 経営者の役割』ダイヤモンド社、の、のちの組織研究に影響を与えた部分を選んでの精読する文献購読演習を行う。つまり、「演習Ⅰ」と言っても現行のカリキュラムには無い「基礎演習 C」のような内容である。「演習Ⅰ」の到達目標は文献購読報告ができ、文献購読レポートが書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートで他者が著作権を持つ文字列を引用できること、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行年・3.書名・4.出版社を正確に記述できることを含む。

3年の「演習ⅡA・B」と4年の「演習ⅢA・B」では各自研究テーマを決めて、研究課題は、(外部の組織から受動的に与えられるのではなく、)ゲーム以外のテーマから受講者が自ら能動的に決定して、研究演習を行う。「演習ⅡA・B」の到達目標は研究報告ができ研究論文が書けるようになることで、「演習ⅢA・B」の到達目標は、社会科学の研究論文が書けるようになること。単位修得の要件には、報告およびレポートの巻末の参考文献リストで、1.著作権者・2.刊行 or 更新年(月日)・3.書名 or タイトル・4.出版社 or URL を正確に記述できること、および、報告およびレポートで、5.自分の意見や考え・または・著作権者を特定できない情報と、他者が著作権を持つ情報とを区別し、6.他者が著作権を持つ情報の出典を引用または参照という方法で巻末の参考文献リストと照合して明記すること、を含む。

3年の「演習ⅡA・B」は、まず、報告者が各自が決めた研究テーマに基づく報告をして、質疑応答に引き続き、4人程度のグループで今後の報告者の研究の参考になりそうな点についてブレインストーミングを行う、という内容です。前期の「演習ⅡA」は各自の問題意識について報告する段階です。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

「演習Ⅰ」では学期末締切で字数自由の文献購読レポート

「演習ⅡA・B」と「演習ⅢA」では学期末締切の研究レポートを課し、字数のペース配分目標は「演習ⅡA」が4000字、「演習ⅡB」が8000字とする。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

業種の傾向はありません。過去、北関東地域の実家から通勤可能な勤務地限定の職掌への就職希望者は100%就職が決まっています。

(6) 教員について(自己紹介等)

[教員について](http://www2.kokugakuin.ac.jp/~ogiso/index.html)

小木曾はゲームとギャンブルについて無知であるため、ゲームまたはギャンブルを研究テーマとした学生に対して、十分な論文指導ができません。

(7) その他

小木曾ゼミは、研究成果であるゼミ卒業論文の質を分子、(ともに実施しないゼミ合宿とサブゼミを含む)拘束時間を分母とする、研究成果労働生産性が高いゼミです。過去の4年生のゼミ卒業論文・ゼミ論などは[ゼミ HP](http://www2.kokugakuin.ac.jp/ogi1/index.html)を参照してください。

小木曾が担当する「演習ⅡA」では、コースを指定していません。



## 尾近裕幸 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			ミクロ経済学	マクロ経済学
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	0人	3年女	0人	4年男	人	4年女	6人
-----	----	-----	----	-----	---	-----	----

### (1) テーマ

中級ミクロ経済学の学習と社会分析の手法としてのマルチエージェント・シミュレーション入門

### (2) キーワード

ミクロ経済学、マルチ・エージェント・シミュレーション

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ミクロ経済学の内容およびマルチ・エージェント・シミュレーション技法をきちんと理解し、自分 n お言葉で表現・説明できるように「言語化能力」「可視化能力」の向上に重きをおいて、テキストを精読し、練習問題を解いてゆきます。

### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3年次・4年次にリサーチ・ペーパー(研究論文)を作成します。

3年次のリサーチ・ペーパー

は、研究の仕方からペーパーの書き方までを指導します。

4年次のリサーチ・ペーパーは、研究テーマ

の設定からペーパーの完成までを指導します。

### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

様々な職種の企業に就職しています。大学院に進学した人もいます。

(6) 教員について(自己紹介等)

令和 6 年度前期まで派遣研究（研究専念期間）なので 3 年生対象の演習を担当していないため受講生がいません。4 年生とはミクロ経済学、マルチ・エージェント・シミュレーションのアプリケーションの NetLogo、Python を一緒に勉強しています。新年度からは新たに ChatGTP を使いこなせるように「壁打ち」に取り組み、論文執筆に使う LaTeX の勉強も始めています。

(7) その他

礼儀正しく、快活明朗で、真摯に学び続けながら自分自身を成長させたいと本気で考えている学生を希望します。

**尾崎麻弥子 ゼミ**

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済史入門	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B				

3 年男	15 人	3 年女	1 人	4 年男	13 人	4 年女	1 人
------	------	------	-----	------	------	------	-----

(1) テーマ

西洋（ヨーロッパ、アメリカ）の広い意味での経済（経済活動にまつることすべて。生産・流通・消費）から歴史的な視点で我々の今の生活を見直す。

## (2) キーワード

ヨーロッパ、アメリカ、歴史、世界、経済

## (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

はじめに各人が興味のあるテーマを事前に考えてもらいます（仮というか何となくの関心で構いません）。テーマ自体は歴史的なものでも現代のものでも構いませんが、現代のものを選んだ方もできるだけ歴史的な視点から見るようにということを考えてください。調べる熱意があれば特に詳しい知識は必要ありませんが、日本史・世界史のかなりおおまかな流れは頭に入っていたほうが良いです。2年時にはそれに関するディベート、ディスカッションをおこない、並行して卒論に関する説明と注意点について話し合い、論文の書き方について勉強します。3年時にはそのテーマについてさらに討論し、夏休みで卒論の方向性を決め3年生で卒論本文執筆を開始するという状態にしておいて、4年生の就職活動に臨んでください（面接などで役に立ちます）。下の学年のゼミにも参加してもらうことがあるので、来年度以降のことですが、ゼミの曜日には後ろにアルバイトなどを入れないようにしてください。

## (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

卒業論文の準備として3年生である程度の形を決めてもらいます。。4年の前半は就職活動で頭がいっぱいになるので、むしろ3年生のうちに方向性をしっかり決めます。本来経済史とは歴史的な一次史料を使用して研究をするものですが、日本でそれをやるのは大変難しいので、基本的には文献やインターネットから拾えるデータなどを利用することになります。テーマは基本的には欧米の歴史（20世紀などの近い歴史でもOKです）に限られますが、強い熱意があればそれ以外でも可にしています（ただしその場合できる指導には限りがあります。）ただしレポートではないので、つねに「なぜEUは現在うまくいかなかったのか」などの（少しテーマが大きすぎますが）疑問点を最初に提示して、それについて複数の文献を使って「分析」を行ってください。直接データを使用して分析できればなおいいです。

## (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融のゼミ→金融関係のように直結する学問ではないので個人の力量と関心によってかなり差があります。金融・保険・不動産・地方公務員・交通・流通・食品関係・アパレルなどまさに経済活動にわたるものはなんでもというところがあります。卒論のテーマと関連したところに就職している人が多い印象があります。志望業界を限定はしませんが、貫性を持つことが大切だと思います。実際に教員になった人はまだいませんが、高校教員免許取得率がわりと高いです。教育実習の時期は、ゼミをお休みしてありますので教員志望の方も大丈夫です。

## (6) 教員について(自己紹介等)

専門はスイス・フランス国境地域の経済史です。趣味は映画や舞台などを見ることです。ゼミの関心に応じて、ゼミの時間に欧米経済史に関連する映画を鑑賞して感想を話し合ったりなども時々しています。飲み会はゼミ生の希望にもよりますが、多い年は1か月に1回、少ないときは学期に2, 3回やっていました。一見おっとりして見られがちですが、報告の内容などには結構突っ込みます。

## (7) その他

ゼミは人数が少ないので、どのような態度で臨んでいるかは教員だけではなく他のゼミ生にもすぐにわかります。本当にほかにもやりたいことや事情があってなんとか両立したいのか、単に手を抜きたいのかすぐにわかります。出席回数や発言回数といった形式的なことだけではなく（もちろんそこに現れては来ますが）、自分の適性とどういった貢献ができるかを考えたうえで誠実に参加してくれることを望みます。



## 小野正人 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	※2 年後期に履 修指定あり		経営入門	簿記の基礎
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			会計入門	

3 年 (男)	8 人	3 年 (女)	12 人	4 年 (男)	14 人	4 年 (女)	6 人
---------	-----	---------	------	---------	------	---------	-----

### (1) テーマ 『企業研究』

**大企業、中小企業、ベンチャービジネス、外国企業、非営利組織を対象に、ケーススタディの手法を用いて企業研究に取り組みます。企業の実情と課題に向き合う実践的なゼミです。**

1. 目的：個々の企業を分担して研究し、発表・議論することによって、実社会において役立つ力を養っていく。担当教員の専門分野はベンチャービジネスとアントレプレナーシップであるが、ベンチャーや事業創造を視野に置きつつも、スタートアップから大企業まで幅広い組織を対象に考察します。
2. 内容：①会社が公開する諸資料の収集方法、分析方法の学習、②発表・プレゼンテーションのトレーニング、③グループワーク、④実社会に向けた学習活動（キャリア設計、創造性・主体性、就職活動準備）、⑤外部講師を招聘した企業研究・討議、を行います。

### (2) キーワード

企業を見る目、創造、イノベーション ⇒ 変化に対応でき、柔軟性を持ち、問題を解決できる人間になる

1. 「企業を見る目」： 社会人になればさまざまな会社と付き合う機会が訪れる。会社をどのような物差しでどのように評価すればよいかを体得してほしい。
2. 「創造」： ゼミの目標は自分で未来を拓く力をつけること。知識を増やし、論理的に考え、他人に説明できるように努め、同時に自分がどうやって生きていこうかを考えてほしい。
3. 「イノベーション」： ゼミでは、世界で起きている革新的な変化を理解しうまく活用できるように修養することを考えていく。21 世紀は開発や進化を一つの会社や自分の周りだけで行うのではなく、世界の多様な人々と組んで取り組むオープン・イノベーションの時代であり、そのような環境に生き残って活躍できる人材を目指す。

### (3) ゼミの進め方と求める人材

・2 年次は、「経営分析」の授業をもとにゼミ生が講義を行う反転授業形式で行い、授業に関連したケース演習で経営分析の力を高めていきます。3 年次は、各グループに課せられた企業研究(グループワーク)と有価証券報告書/アニュアルレポートの解説を行い、グループごとに企業研究の成果を発表しゼミ内で議論します。4 年次は、各人が関心のある会社・業種・テーマを選択して個人で企業研究を行い、その成果をもとに卒業論文を作成します。

・企業評価の基本的な知識を修得するために、年 1～2 冊の専門文献を輪読します。文献の例：伊藤邦雄『新・企業価値評価』、Clayton Christensen “How will you measure your line? ”、大津広一「経営指標大全」、アナリストレポート(楽天グループ、キヤノン、サイバーエージェント、ペイロールなど)。

・会計学のゼミではありません。経営学を活用してビジネスの知識・関心・探求・アナリシスの技能を高めていく実務重視のゼミです。高度な命題を探求していく学術性・専門性を体験する機会は少ないことに留意してください。

・「経営分析」を 2 年後期に履修することが条件です。また経営学科 3 コースを指定しているため、残念ながら経済学科の学生は応募できません。ゼミ選考の倍率は例年 1.4～2 倍程度です。

・様々な職業の選択肢と変化に柔軟に適應できる人材育成を目指しています。学外の専門家/実務家のゼミ招聘講演、他大学とのインターゼミを行う予定です。初対面・専門外の異なる世代の人々と交流する機会があるので、ゼミ生は主体的に質問や議論をすることが必須です。これらに取り組むような熱意のある人がゼミ入室の条件であり、幹事や役割を引き受けないような人は応募をお断りします。

#### (4) 卒業論文

・皆で力を合わせて脱落者を出すことなく良い卒論を提出することを目標にします。2 年後期から分析手法と文献資料収集の知識を習得していき、卒業論文への意識を高めていきます。3 年後期の段階から卒論のテーマを定めてプロジェクトファイルの蓄積をもとに前倒しに作業を行い、4 年後期に卒業論文を完成させます。昨年度は以下のような卒論テーマで、合計 410 ページの卒業論集を作りました。

テイクアンドギヴ・ニーズ  
サントリーホールディングス  
大創産業 (DAISO)  
ENEOSホールディングス  
日本ハム  
自動車業界におけるHONDA  
モスフードサービス

ポニーキャニオン  
Netflix, Inc.  
神戸物産 (業務スーパー)  
味の素  
テレビ朝日ホールディングス  
ゲーム業界における任天堂  
メガベンチャー企業 (DeNA)

クボタ  
フジ・メディア・ホールディングス  
NECレノボ・ジャパングループ  
ソニーグループ  
寿スピリッツとスイーツギフト業界  
芙蓉総合リース



#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

・ほとんどが民間企業に就職していますが、業種は多岐にわたっています。昨年度の主な就職先は、リク्रीト/エン・ジャパン (人材)、日本銀行/日本マスタートラスト信託銀行/オリエンコーポレーション (金融)、日立ソリューションズ/パーソルプロセス&テクノロジー (IT)、エイチ・アイ・エス (旅行)、東京国税局 (公務) でしたが、非上場のベンチャー企業に入る人も休学してベンチャー経営に従事する人もいます。私自身大企業や国家公務員を経験してきましたが、それらの

職場が将来もずっと安泰とは思っていません。雇用が大きく変わる時代に既成概念にとらわれずに進むべき分野を自分で考え動くことが重要と思います。またベンチャーや起業を真剣に考えている人は歓迎します。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

- ・1958年高知県生まれ。四国の山の中で育ち、中高は陸上競技部、大学はボート部、ももとは体育会系。
- ・東京大学経済学部卒業。國學院大學経済学研究科博士後期課程退学。日本製鉄/内閣府/日本生命保険/日本ベンチャーキャピタル/スタンフォード大学/慶應 SFC を経て城西大学経営学部教授。2020年國學院大學に着任。大学卒業後、メーカー勤務にはじまり、中央官庁/金融機関/シンクタンク/海外留学/ベンチャーキャピタル/大学教員と、さまざまな職場を経験した実務家教員です。
- ・担当講義：ベンチャービジネス、経営分析、経営入門など。
- ・良くも悪くも物わかりが良くさばさばした性格で、判断は早いがあきらめも早い…。現在は山歩き、サイクリング、料理が趣味で、フルマラソン 12 回、富士山 11 回、高尾山 290 回登頂。歳をとっても健全な精神と身体を維持すること、新しい取り組みにチャレンジすること、年齢より十歳若く見られることが目標です。

## 木村秀史 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ	演習Ⅰ	演習Ⅱ	演習Ⅱ	演習Ⅲ
サマセ	スプセ	サマセ	スプセ	サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	金融の基礎		世界の経済	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年(男)	人	3年(女)	人	4年(男)	人	4年(女)	人
-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(1) テーマ

「金融と国際金融」から経済を学ぶ

(2) キーワード

銀行、証券会社、中央銀行、株式・債券、金利、通貨・為替レート

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

【ゼミの基本的な進め方】

- ①一週間の「基本的な経済指標」と「経済関連のニュース」の確認と共有  
各自で発表してもらい、その後、ディスカッションを行います。
- ②金融に関するテキストや本の輪読  
報告者⇒「レジュメ」の作成とゼミ当日のプレゼンテーション  
報告者以外⇒「質問書」の作成とゼミ当日の質問&ディスカッション  
(教員の指示で適宜グループディスカッションも行ってもらいます)

【その他の活動について】

その他のイベントとして「他大学との合同ゼミ」を開催する可能性があります。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

特にありませんが、ゼミの中で課す場合があります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融のゼミということもあって、全体的に金融機関が多めです(主に銀行や証券会社)。それ以外にも幅広い業種に就職しており、例えばIT関係、公務員、不動産、商社などがあります。



(6) 教員について(自己紹介等)

専門領域は国際金融で、最近の研究テーマは「発展途上国の対外債務問題」です。当ゼミの募集時点ではイギリスの King's College London に研究員として在籍しており、上記の研究テーマに取り組んでおります。ゼミが始まる9月には帰国する予定です。趣味はアニメ全般です。アニメに関してはかなり詳しいと自負しております。サークル「ラブライブ研究会」の活動には積極的に関わっております。

## 櫻井潤 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			財政の基礎	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年(男)	13人	3年(女)	8人	4年(男)	8人	4年(女)	10人
-------	-----	-------	----	-------	----	-------	-----

### (1) テーマ

「地域問題と地方財政」

この演習では、地域の経済社会における諸問題と、それらを解決するための地方財政の現状・課題について、ゼミ生が協力しながら学びます。

現代の経済社会において「地方公共団体（地方自治体）」が果たしている役割・活動領域・影響力はとても大きく、みなさんの生活は地方公共団体の存在を抜きにしては成立しません。地方公共団体の活動領域は、警察・消防・道路整備や都市計画・公共交通・上下水道・教育・社会保障（医療・介護・子育て支援）など、広範囲にわたります。地方公共団体は、地域の諸問題を解決するために、どの分野の公共サービスをどのくらいの水準まで提供しているのでしょうか。そのために必要な財源は、どのような財政制度に基づいて集められているのでしょうか。

地域の諸問題に、「住民に最も身近な政府」である地方公共団体がどのように取り組んでいるのかを学び、時代の変化に対応した地域の経済社会や政府のあり方を一緒に考えましょう。

### (2) キーワード

地方財政、地域社会問題、まちづくり、財政分析、納得できる学生生活、まじめに楽しく

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

このゼミを志望する学生は、卒業までのゼミ活動について以下の3点に同意してください。

#### 1. 他のゼミ生と協力し、教えあいながら、ゼミ活動を進めてください。

ゼミ活動は自分の課題を済ませておけば良いというものではなく、自分が成長するために、他のゼミ生と一緒にすることが基本です。ゼミ生同士が密に連絡を取り合い、必要に応じて他のゼミ生の相談に乗るなど、協力して成果を出すことを目指してください。

#### 2. 演習の時間外にも、ゼミ活動には十分に時間をかけて取り組んでください。

困ったときにはサポートしますので、がんばって取り組んでください。

3. 夏合宿・春合宿を行う場合には必ず参加し、楽しく活動してください（今年度は未定）。

その他、先輩・後輩のゼミ生や卒業生などとの交流イベントを開催することもあります。

これらは、相互学習や就職活動に役立てるためのゼミ活動の一環として行います。一生の間になかなか得られない有益で貴重な機会ですので積極的に参加してください。

各年次におけるゼミの進め方は以下の通りです。

2年次： 【1】地域問題や地方財政に関する文献の輪読と、【2】市区町村の財政分析を行います。これらの活動を通して、読書習慣、文献読解、資料作成、発表、科学的考察、ディスカッション、情報収集、統計分析の仕方を身に付けてもらいます。2月頃に春の発表会を行い、ゼミ活動の成果発表や3年次の活動に向けた準備を行います。

3年次： 【1】学内外のプレゼン大会や討論会への参加… 作業を分担し、プレゼン資料の作成・発表やグループ論文の執筆・討論などを行います。【2】就職活動の準備… ゼミ生主体で情報交換・応募書類の検討・面接練習を行います。【3】卒業論文の作成に向けた準備… 研究テーマの決定、作業計画の作成、資料の収集・分析に着手します。8月頃に夏合宿（今年度は未定）、2月頃に春の発表会を行い、ゼミ活動の成果発表や後輩へのアドバイスを行います。

4年次： 卒業論文の執筆… 自分で設定した研究テーマに基づいて、相互にディスカッションしながら作業を進め、卒業論文としてまとめます。8月頃に夏合宿、2月に春の発表会を行い、卒業論文の執筆に向けた議論、卒業論文の発表、後輩へのアドバイスを行います。

就職活動の際や卒業後に、納得できる楽しい学生生活を送ったと自信を持って言えるよう、ゼミ活動に取り組んでもらえると幸いです。

(4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

2年次： 市区町村財政の現状に関する小レポート（3000字程度・1月末頃に提出）

3年次： プレゼン資料（10～15分程度で報告するための分量・9～10月頃に提出）

グループ論文（8000～1万2000字程度・10～11月頃に提出）

4年次： 卒業論文（1万2000～2万字程度・11～12月頃に提出）

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

卒業生の就職先は、不動産業、IT関連業、人材開発・出版業、大学職員、青森市、東京都、防衛省などです。現4年生も3年次から就職活動を積極的に行い、続々と内定を得ています。

(6) 教員について(自己紹介等)

社会保障財政、まちづくりと地方財政、地域医療政策について、現地調査を取り入れた国際比較研究を行っています。ニューヨークの貧困者医療保障、サンフランシスコのチャイナタウン・コミュニティ、テキサス州の民営刑務所、北海道釧路市のドクターヘリ、大阪府阪南市の住民自治などを調査してきました。疲れた顔をしていますねとよく言われるのですが割と健康です。

## 東海林孝一 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○	○	○	○

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	会計入門		簿記の基礎	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	11人	3年女	5人	4年男	7人	4年女	5人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ 会計の目で企業を見よう

東海林ゼミでは管理会計について研究します。まず、会計学は財務会計と管理会計に大きく2分類することができます。財務会計は企業の利害関係者（株主や債権者、従業員等）に企業の財政状態や経営成績等に関する情報をどのように開示するかを研究する領域です。

管理会計は企業経営をサポートするための会計であり、企業がもっと合理的に経営するために必要な会計理論や技法のことを言います。なお管理会計には予算管理と原価計算という2つの領域があり、ゼミでは主に予算管理を中心に管理会計全般を学びます。皆さんが就職する大企業や上場企業は、予算管理制度を採用していることが必須になっていますので社会人になって必要な知識の一つです。

新型コロナウイルスによって、世界の経済、日本の経済は大打撃を受け、ロシアによる大ウクライナ侵攻によって食糧や資源価格の高騰、さらに円安がそれに拍車を掛けています。当然、企業経営にも深刻な影響があり、すでに倒産する企業も出始めました。管理会計で学ぶ知識は企業経営にとって非常に重要な必須の知識です。例えば損益分岐点分析（黒字になるために必要な売上高の計算や、赤字にならないためには売上高の減少をどの程度までに抑えなければならないか）や資金予算（日々の資金繰りや設備投資資金に関する予算）等は就職してからすぐに役立つ知識です。また「値引きをして販売数量を伸ばすべきなのか、それとも販売数量が減っても値上げをして利益率を改善すべきなのか」といった企業戦略を策定するときに、管理会計は欠かすことができません。深夜はお客様の減ることが明らかなのにコンビニが24時間開店しているのも、マクドナルドでポテトやドリンクがセットされているメニューが割安なのも、管理会計の理論や技法を理解すると簡単に理解することができます。

### (2) キーワード ①ゼミこそ大学 ②自分の可能性への挑戦 ③考えて行動する

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

#### ①演習Ⅰ（2年次後期）

演習Ⅰの内容は会計学の基礎である財務会計について、各自テーマごとにレジメを作り発表してもらいます。名を私のゼミでは一定水準になってから発表が認められます。よって発表水準に達していないと判断された場合は、何度でも作り直しを命じられます。ここでの訓練が演習Ⅱで生かされます。

## ②演習Ⅱ（3年次通年）

活動基準原価計算、マテリアルフローコスト会計、シェアードサービスマネジメントなど管理会計の主要な理論や技法について、テーマごとにレジュメを作り発表してもらいます。文献検索、データの収集能力が求められます。なお3年次終了までに日本商工会議所簿記検定2級を合格してもらいます。

## ③演習Ⅲ（4年次通年）

演習Ⅱで培った管理会計の理論や技法をもとに、各自が選んだ卒論のテーマに沿って、順次発表してもらいます。  
→（4）参照

④演習Ⅰ（サマーセミナー）、演習Ⅰ（スプリングセミナー）、演習Ⅱ（サマーセミナー）、演習Ⅱ（スプリングセミナー）、演習Ⅲ（サマーセミナー）ではマネジメントゲームを用いたアクティブラーニングを行います。4人1組で売価原価の異なる3種類の商品を売買して、決算書を作成して業績を競い、株主総会で決算承認と取締役の選解任をします。4年生や3年生は販売戦略の立案や長期借入や増資などの資金計画の立案、経営を行い、2年生は入金伝票、出金伝票の処理、金銭出納帳、仕入帳、売上帳、商品有高帳の記帳処理を担当します。また予算編成、予算差異分析も行います。

ここまで順次説明したよう、演習Ⅰ～Ⅲは理論や事例の研究、演習Ⅰ（サマーセミナー）から演習Ⅲ（サマーセミナー）までの合宿での集中授業は、ビジネスゲームを用いたアクティブラーニングになりますので、それぞれが連携しています。従って全て出席することが原則になります。事前の許可を得ずに欠席するとゼミを辞めてもらいます。就職活動といえども例外ではありません。

## （4） 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習Ⅲの最終授業時に卒業論文を提出してもらいます。テーマは企業経営や会計理論・実務に関わるものであれば、自由に選択できます。20,000字以上の卒業論文の提出が4年次の単位認定条件です。

## （5）先輩たちの主な就職先と傾向

メーカーの営業や経理の比率が過半数で、金融機関（三井住友銀行、みずほ銀行、群馬銀行、長野銀行、山陰合同銀行等）や公務員（国土交通省、前橋市役所、坂戸市役所、国税専門官、財務専門官、消防士）などがいます。具体的な企業名を挙げると、全日空、アサヒ、NTTドコモ、いすゞ自動車、伊藤園、キューピー、NEC、日本製鉄、東洋製罐、タカスタンダード、ブリヂトン、ローソン、理研ビタミン、三菱食品、東洋エレクトロン、沖電気、楽天、アイリスオーヤマなどです。税理士は10人以上います。科目合格者も20人は超えています。公認会計士、米国公認会計士もおります。変わり種では、歯科医師（開業医）、市議会議員もゼミの卒業生にはおります。

(6) 教員について(自己紹介等) 國學院大學経済学部卒業後、横浜市立大学商学部大学院修士課程を修了(経営学修士)し、青山学院大学経営学研究科博士後期課程を経て現在に至ります。横浜ベイスターズとお酒が大好きです。硬式野球部長でもあります。昔、学生につけられたあだ名は「明るいオタク」でした。



(7) その他

オフィスアワーや公開ゼミに来て何でも質問して下さい。

## 杉山里枝 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済史入門	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	12人	3年女	8人	4年男	11人	4年女	4人
-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----

(1) テーマ

歴史的視点から読み解く日本経済と企業経営

(2) キーワード

経済史、経営史、企業家史

(3) ゼミの進め方

- 2年次：経済史・経営史に関する基本的なテキストを輪読し、基礎知識を身に付けます。毎回、グループでプレゼンテーション方式で内容を発表してもらい、教員による解説と質疑応答をするほか、輪読のテーマに沿った課題(ワーク)を出し、それについてグループで議論し(GW)、全体討論を行います。その他、ビジネス誌からトレンドのトピックスを紹介し、それについてゼミ内で議論を行うこともあります。
- 3年次：秋学期に他大学との合同ゼミ(プレゼンテーション交流発表会)を行うので、そのための準備として、グループでテーマを設定し、研究を行います。学内のゼミ成果発表会にも参加します。また、外部講師による講演会を実施し、幅広い知識について学びます。
- 4年次：就活対策として業界研究や面接対策などを行い、その後は卒業論文作成に向けた研究を中心に活動を行います。

※企業見学、資料館見学など課外学習も行っています。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

とくにありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融(証券、銀行)、生保、商社、サービス、コンサル、メーカー、アパレル、音楽、映像、航空、など幅広い業種に就職しています。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門は日本経済史、経営史です。鉄道史・電力業史・織物業史・財閥史といった産業・企業に関する研究から、観光(ツーリズム)の歴史研究、渋沢栄一・岩崎弥太郎といった企業家に関する研究までひろく経済史・経営史に関する研究を行っています。2016年に本学に着任し、1～3期ゼミ生を担当した後に渡米、在外研究を行いました。現在の3年生で7期目です。大学時代には2つの学科(経済学科・経営学科)を卒業し、2つのゼミ(現代経済・経済史)に所属していました。そのため、幅広い視野から経済・経営の「歴史と今」を結び付けて研究することを志向しています。

(7) その他

ゼミ生同士、グループワークを中心に、和気あいあいとした雰囲気の中でゼミ活動を行っています。ゼミ活動を通じて、専門的知識の修得のみならず、卒業後に必要な「社会人基礎力」(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を向上させてほしいと思っています。ゼミ生にとって、「杉山ゼミでよかった」と思えるような環境づくりを目指し、指導を行っています。歴史に対して苦手意識のある学生であっても、その意識を克服し楽しく学べるよう、わかりやすく説明するように心掛けていますので大丈夫です。わからないことがあれば、どんどん質問してください。楽しく、そしてしっかりと知識や主体的に学ぶ力を身に付けたい学生、ゼミ活動をつうじて大学生活をより充実させたいという学生は、ぜひ応募してください。



## 高木康順 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	統計入門	経済経営数学入門	ビジネスリサーチ	マクロ経済Ⅰ
コンピュータと情報Ⅰ			経済理論入門		ミクロ経済Ⅰ

3年(男)	6人	3年(女)	2人	4年(男)	6人	4年(女)	0人
-------	----	-------	----	-------	----	-------	----

(1) テーマ

日本とアメリカのデータを使ってマクロ経済学の基礎理論がどこまで有効か確認する

(2) キーワード

マクロ経済学 パソコン 統計分析

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年生

教科書：N・クレゴリー・マンキュー：『マンキュー入門経済学』、東洋経済新報社

R・J・ゴードン：『現代マクロエコノミクス』原著第6版上：多賀出版

ノートパソコンを全員に所有してもらいます。ペーパーレスで運営するためにレジメやスライドはZoomで共有しながら進めます。報告準備のために研究室では複数のゼミ員が同時にノートパソコンで作業することがあります。その作業結果をネットワーク上で共有し、修正作業を継続する必要があるためです、合格後、ノートパソコンを新たに購入する場合選定相談を受けます。また、希望者にはノートパソコン利用法と基本ソフトウェア、ネットワーク環境設定を研究室で確認します。

夏休み中に数学準備として「経済経営数学入門」の講義ノートNo.1～12+付属Excelファイルを復習(授業で配布されなかったものはこちらから提供します)してもらいます。

後期開始後は、マンキューの内容を、報告者がスライドと口頭報告用の原稿を用意して報告します。スライドには、教科書で利用されている図表を、見た目をお絵かきで再現するのではなく、理論的な説明に沿って数式化し、表計算ソフトを用いたグラフや表で再現します。章末の問題は報告時間の余りの範囲で報告者以外に解いてもらいます。マンキューの後半マクロ経済学基礎は報告のみで内容を確認し、ゴードンの教科書に移行します。ゴードンの教科書では日米の各種官庁データを利用します。2年次では、各サイトへのアクセスとデータダウンロード、基礎的なデータ処理をゴードン1章のグラフに対応して行います。第2章では日米のGDP統計の構成を確認し、3年次の比較分析の準備をします。



演習 1 以外に、3 年次の理論分析の準備のために「ビジネスリサーチ」・「データ分析 I」を履修する必要があります。「ビジネスリサーチ」・「データ分析 I」は卒業までに単位を取得してください。

### 3 年生

教科書(予定): R・J・ゴードン: 『現代マクロエコノミクス』原著第 6 版上下: 多賀出版

中級のマクロ経済学理論の教科書の内容の報告とデータ分析を平行しておこないます。「分析」は報告された章に掲載されている、アメリカ経済の 1980 年代までのデータを使ったグラフを、最新の日米のデータを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論的な説明がどこまで当てはまるか確認するものです。

データを用いた検証はグラフの再現を超えてどこまでできるか、ゼミ生単独では範囲を設定できない場合が多く、教科書の理論をどのような手法を組み合わせて分析するか細かく指導します。内容報告は 2 年次に習得した報告手順により実施します。

演習 2 以外では「ビジネスリサーチ」・「データ分析 I」で取り残しているものの単位を必ず取得してください。

### 4 年生

前期は卒業論文の主題を選ぶためにテキストを再読し各章の内容を確認します。特定の章に主題が定まったなら、3 年ゼミで行ったその章の日米比較を整理します。後期は計量経済学手法を用いて比較分析をさらに深化・展開させて論文としてまとめます。

#### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

特にありません。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・商社など一般的な事務系職種に就職していますが、IT 系への就職も目立ちます。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

日本経済全体の消費行動の理論構築と計量経済分析が研究テーマです。経済状況の変化に影響を受けて生じる、耐久消費財支出時期の理論的最適からの遅れをモデル化・検証しています。

性格は大まかで、論文に求められる緻密さは数学に依存しています。理論モデルを飽きずに延々とひねくり回したり、結果が中々出ないデータ分析をしつこく続けたりするのは大好きですが、ゼミ生の指導で細かいミスをはじくり返したり怒り続けたりする根気はありません。

#### (7) こんな学生に来てほしい

ミクロ・マクロ経済理論、モデル構築に必要な数学、データ分析の手法と学ばなければならない範囲は広いですが、理論の基礎から学び直すので、改めてゼミからスタートしたい人でも大丈夫です。が、ゼミの準備に時間をかけないと達成水準は低くなるので、学ぶ意欲はしっかりと持って来てください。

経済経営数学入門水準の数学と、統計入門水準の Excel 操作能力は必要です。両学科全コースの学生を受け入れますが、経済学理論科目との関連が強く、経営学科から応募する人は学科の卒業要件以外の科目を複数履修できる単位の余裕が求められます。

## 高橋克秀 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済統計の見方	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			経済理論入門	

3年男	10人	3年女	1人	4年男	5人	4年女	人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	---

### (1) テーマ

データ分析の基礎

### (2) キーワード

ビッグデータ クラスタ 統計学 計量経済学 統計検定

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

毎回担当者を決めてパワーポイントで発表する。個人のパソコンは必須。統計学検定の取得を勧めている。2級合格者は就活市場で引く手あまたとなる。毎年2名ほど合格している。合宿はやらない予定。

### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

毎年12月に行われる経済学部の懸賞論文に必ず応募することを奨励している。統計学検定3級、2級の勉強を奨励している(ゼミでも練習問題を解く)

### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

最近企業情報調査、IT、金融機関が多い。有名なところではソニー、みずほ銀行、帝国データバンクなど。

### (6) 教員について(自己紹介等)

新聞記者→エコノミスト→教員 世界遺産歩きが趣味

### (7) こんな学生に来てほしい

正当な理由なく欠席する学生は困ります。90%以上出席できるかどうかよく考えてから応募してください。このゼミでは統計学の基礎を学んだうえで、現実の経済・経営問題、社会問題(最近ではスポーツや健康・医療の統計分析も)を数値的に解析します。テーマは自由です。芸術に関するテーマも歓迎しますが、アニメとゲームは範囲外です。春休み、夏休みは軽い課題が出ます。卒論(ゼミ論)は必須です。とはいえ、2年生の間は易しいところから始めるので心配ありません。数学は得意である必要はありませんが、経済経営数学入門レベルは前提とします。

## 田原裕子 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		○

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			社会保障論	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			地域政策	

3年男	5人	3年女	4人	4年男	8人	4年女	7人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

人口減少社会における地域政策と社会保障

少子高齢・人口減少社会における持続可能な社会保障と地域のあり方について、大学での座学と渋谷における地域連携活動を通じて具体的に学び、考える。グループワークや学内外でのプレゼンテーション等を通じて、協働する力や自分の考えを的確に伝える力を身につけることで、社会人基礎力を養う。

### (2) キーワード

地域政策・地域づくり、社会保障、地域連携活動の実践

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

- 2年後期は教科書・新聞記事報告や、グループでの調査研究（昨年度は PFI や PPP を活用した都市公園の整備について）を通じて、テキストの読み方・まとめ方、データの集め方・整理のしかた、伝わりやすいプレゼンの基礎をしっかり学びます。
- 3年前期も教科書・新聞記事報告とグループ調査研究（都心再開発を予定）。3年後期からは卒論執筆に向けた文献調査、統計調査を始めます。
- 4年次は卒論の執筆を進めます。
- 毎週のゼミ以外に、卒論発表会・OBOG会、渋谷での地域貢献活動（渋谷さくら祭でのイベントの企画・運営など）、公式飲み会（年に3回程度）などがあります。
- 部活のように勉強するゼミです。時期や人によって差がありますが、平均すると生活の3割～4割くらいをゼミに費やしているそうです。とはいえ、勉強のしかたや時間の使い方を工夫することで、就職活動はもちろん、サークルやバイトとの両立ができており、そうした能力が就活や仕事にも活かしているようです。

### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

- 2年後期の学期末：グループワークのまとめ（Power Point のスライドで 20 枚程度の資料と、Word で A 4・2 枚程度。グループごとに作成）
  - 地域連携活動の内容によって、3 年次にグループでレポートを作成する場合があります。
- ※ グループワークの内容は年によって変わります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融・保険、インフラ（鉄道、通信）、デベロッパー・ゼネコン、メーカー（食品、製薬、自動車、化粧品、機械など）、広告、出版、テーマパーク、運輸、公務員など。

年に 1 度の卒論等発表会・OBOG 会のほか、普段のゼミに顔を出してくれる OBOG も多く、学年の離れた OBOG に就活や卒論の相談ができることも強みです。

(6) 教員について(自己紹介等)

都市地理学の視点から渋谷再開発がクリエイティブワーカーの働き方や地域経済・社会に与える影響、高齢人口移動が地域に与える影響などを研究しています。お酒を飲むのが好きなので、「卒業したら飲み友達」です。

(7) その他

「渋谷さくら祭」で検索すると関連記事がたくさん出てきますので、ぜひチェックしてみてください。また、3 年次のグループワーク（渋谷区との共同調査）は渋谷区の「まちづくりマスタープラン」（第 1 章）にも取り上げられています！

[渋谷区まちづくりマスタープラン \(city.shibuya.tokyo.jp\)](http://city.shibuya.tokyo.jp)



## 中馬祥子 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	開発経済（3年次に履修すること）		世界経済入門	
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B			社会経済学	

3年男	12人	3年女	4人	4年男	7人	4年女	5人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ：グローバル経済の中で深刻化する経済・社会格差問題：ジェンダーの視点を中心に

このゼミは、グローバル経済の展開と密接に関わりつつ深刻化する経済格差や社会的差別の要因・現状分析、ならびにそれらを踏まえた「オルタナティブな経済を模索する動き」の研究を主題とします。中でも今年度は、ジェンダーに関する視点を中心に、考察を進めていきたいと考えています。ゼミ生の皆さんが直接対象とする地域は問いませんが（日本、他の先進諸国、開発途上国、いずれの地域を扱っても構いません）、分析の視野をその国や地域に限定することなく、背後にあるグローバル経済の動態について理解を深めていくことが必須となります。それにより、様々な地域について研究を進めているゼミ履修生間の分析視点に共通項が生まれるのです。

(2) キーワード：格差、貧困、差別、市場経済、社会的企業、社会的連帯経済

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

演習 III B での卒業論文完成に向けて、演習 I では文献の探し方、読み方、分析の仕方、分析成果の執筆や発表の仕方など、基本的なアカデミックスキルについて、集中的におさらいするところからスタートします。その際には、1年時に履修した「基礎演習 A」の資料を用います。また、こうした作業と並行して、ゼミテーマに即した内容の基礎的な文献をゼミ生全員で読み進めます。その過程で、研究論文の「批判的な」読み方のコツをつかむと同時に、ひとつの文献の中から、芋づる式に他の文献を探していく手法を実地で学んでいきます。学期の最終授業日には、各自、共通講読文献についての「書評レポート（4000字程度）」を提出してもらいます。

3年生前期の演習 IIA では、2年次までに培ったアカデミックスキルを基礎に、「個人テーマ」を最終決定します。そのテーマに沿って自ら適切な文献を検索し、入手出来るようにすると同時に、グループ・ワークを中心として、同じテーマについて異なる視点から書かれた複数の文献を比較検討しながら、自分の考えをまとめていく訓練をします。前期の最後には、個人テーマについて、自ら選んだ複数の文献について批判的に比較検討する「書評論文（6000字以上）」を提出してもらいます。

後期の演習 IIB は、例年12月頃に実施される「ゼミ成果発表会」での報告準備と、その報告成果を基にしたゼミ論文（12000字程度）の執筆が主な課題となります。「ゼミ成果発表会」に関しては、後期初回に比較的近

いテーマの履修生たちでグループを組み、グループ・テーマを設定した上で報告スライドの準備を進めていきます。10月と11月は、ほぼ毎回、報告準備の進捗状況に即した主題についてゼミで発表をし、その内容やプレゼンテーションのやり方についてゼミの仲間からコメントをもらいながら、改善していくことになります。「ゼミ成果発表会」終了後には、グループ・テーマを深掘りする過程で理解が深まった個人テーマに立ち返り、ゼミ論文を形式面・内容面双方から整えていきます。演習 IIB ゼミ論文の提出期限は最終授業日となります。

4 年生前期の演習 IIIA は、就職活動に関するスキルアップを視野に入れつつ、履修生各自が前年度に執筆した演習 IIB ゼミ論文の内容に基づき、プレゼンテーションやディスカッション、ディベートを行う力を高める訓練を繰り返して行きます。専門性の高い内容について、伝える側はいかにゼミの仲間が理解できるように、興味を喚起するように伝えることができるか、また聴く側は、いかに能動的・批判的にその内容を理解し、コメントや議論をすることができるか、を考えていきます。その上で後期には、再度、演習 II で執筆したゼミ論文に立ち返り、前期の学びの成果も生かしつつ、それを「卒業論文」としてよりよいものに仕上げていく作業を行うこととします。

なお、演習 I、演習 II、演習 III いずれも合宿の予定はありません。

#### (4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

1. 演習 I 最終授業日・締切 4000 字程度の書評レポート
2. 演習 IIA 最終授業日・締切 6000 字以上の書評論文
3. 演習 IIB 最終授業日・締切 12000 字程度のゼミ論文（自由課題）

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

例年、金融・保険業が少数おり、メーカーやサービス業（BtoB も BtoC もあり）へ行く人が主、という感じです。近年の卒業生の主な就職・進学先は以下の通り。あいおいニッセイ同和損保、アニエスパー、一条工務店、静岡銀行、積水ハウス不動産東京、東京大学大学院経済学研究科（進学）、三井倉庫エクスプレス、リコー・ジャパン、WOWOW コミュニケーションズなど。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

専門分野は、開発途上国ならびに先進諸国の女性労働研究、世界システム論研究、社会的連帯経済研究など。中・高とクリスチャンの学校に通っていたこともあり、子どもの頃から、ことあるごとに格差問題や差別問題について考えさせられていました。その影響もあってか、20代の頃は、途上国開発の実務家になろうと思い、スリランカの山村で農村開発 NGO のボランティア活動に従事。超高速飛行のゴキブリが顔に激突してもめげない神経は、その時に養われたものです。…とは言え、こうした活動の過程で、現場の努力だけではどうしようも出来ない、大きなグローバル経済の構造についてもしっかり学びたいと思うようになり、結局は学者の道を歩むこととなりました。

#### (7) その他

和気あいあいと、しかし論文の書き方やディスカッションの仕方などはしっかりと身に付くよう、ハード・ソフト両面を併せ持つゼミにしたいと思っています。自ら「力をつけたい」方の応募をお待ちしています！





## 辻和洋 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A				
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	7人	3年女	10人	4年男	8人	4年女	7人
-----	----	-----	-----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

#### 企業における人の成長とチームの成果を「科学」する

職場で成果を発揮するためには、人はどのように成長するのか、チームメンバーはどのように影響を及ぼし合うのかを科学的に検証することが重要です。そのための基礎的な知識と研究方法を学びます。



### (2) キーワード

人材開発、組織開発、組織行動、学習、メディア、ワークショップデザイン

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

ゼミ生にはハードワークを求めます。楽しいゼミにしたいと思いますが、一生懸命やれないときっと楽しくありません。ゼミの合言葉は「ハードファン」(「挑戦的な課題を乗り越える楽しさ」を指します)です。

#### 【内容】「社会で生かせる力を培う！」

ゼミでは、将来役立つであろう①知識、②思考力、③表現力を養います。

①知識は、人事関連領域、とりわけ人材開発、組織開発、組織行動、学習の基礎的理論に関する文献を渉猟し、議論をしながら理論と実践を結びつける知識を蓄えます。

②思考力は、主に論理的思考力を養います。テキストなどを元に演習問題を取り組み、基礎的な素地を作った後は、記事、レポート、論文などを通じてロジックの検証を行いながら思考力を高めていきます。

③表現力は、プレゼンや文章での成果物のほか、メディア制作を行ってもらいます。文章はたくさん書いて、フィードバックを得る機会を作ります。メディア制作は、映像、絵本、Webデザイン、ワークショップなど、それぞれの関心によって研究テーマに関連する広い意味でのメディアを制作し、様々な表現方法を身につけてもらいます。

2 年後期は、自分の関心のあることを探究します。自分の好きなことをアカデミックな文脈に乗せると何になるのかを探ります。3 年前期は、研究テーマの設定から研究の方法論を学びつつ、関連領域の知識を習得します。また、卒業論文につながる研究計画書を作成します。3 年後期は卒業論文の執筆を開始してもらいます。4 年前期には卒業論文の完成を目指します。

研究以外にも、ゼミ生で輪読を行うほか、学内外の交流を多く持ちます。場合によっては、他大学のゼミや企業・団体、海外とのコラボレーション企画・プロジェクト・ワークショップを発足させます。社会人のゲストスピーカーを呼んで学習することもあります。また、適切にテラシーを持ってどんどん情報発信をしています



### 【学習方法】『楽しい』という感覚を大切にするゼミ！」

学びの場は、**学習者自身で作る**ことを求めます。ゼミの進行は当番制とし、それぞれのゼミ生が主体的に関わることで質の高い学習環境を構築していきます。ワークショップ形式の授業も行い、時々、学年を越えて合同ゼミも企画します。縦横のつながりを大事にしてください。夏休み、春休みの合宿も何らかの形で実施する予定です。多種多様な人々との交流を通じて、一生使えるコミュニケーションの力を積極的に高めてください。

ゼミは学習コミュニティですので、それ自体が人材開発、組織開発の実践の場でもあります。ゼミで学んだ知識を元に、ゼミのあり方を検証する機会も持ちたいと思います。ゼミ生の手でゼミの文化を作りましょう。

#### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

毎期のゼミで課題文献の発表、卒業論文に向けた個人研究のポスター発表、プロジェクトや合宿でのプレゼン発表、ワークショップの企画などがあります。学生によるアウトプットはとて多いです。



#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

新しいゼミなので、まだ卒業生は 3 名しかいませんが、警備、フィットネスなどの業界に就職して行きました。現役生の内定先としては人材、医療、食品、コンサル、ホテル、メーカー、建設、金融など多様です。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

- 1984 年京都市生まれ。小、中、高、大とサッカー部。
- 新卒で読売新聞社に入社。初任地が和歌山、後に大阪社会部。幼稚園児から大臣まで約 3000 人に取材。事件、司法、災害、スポーツ、行政、選挙、経済などの担当を歴任。

- 産業能率大学総合研究所に転職。ビジネスパーソン向けのビジネススキル、マーケティング、マネジメントなど、経営学関連の教材を企画・編集。
- 公益社団法人「チャンス・フォー・チルドレン」、非営利メディア「Tansa」に携わる。横浜市教育委員会との共同研究で、小中学校の職場に組織開発による働き方改革を实践。社会人対象の研修開発、多数。
- 2020年、國學院大に着任。「基礎演習 A,B」「リーダーシップ基礎,応用」「ビジネスデザイン」「組織行動」などを担当。研究テーマは人的資源開発、組織開発、ジャーナリズム。
- お笑い好き（ダイアン、かまいたち、千鳥、天竺鼠、ランジャタイなど）。新しく良いものはどんどん取り入れたいタイプ。意味があると思ったことはことごとんやりたい。やや熱めな人間です。

#### (7) その他

皆さんが4年生になるタイミングですが、2026年後期から在外研究（海外）に行く予定にしています。ですので、原則4年生の前期までに卒業論文を完成させることを目指してゼミを進めていきますのでよろしくお願いします。また、経営学科のゼミ生は前期に開講される「組織行動」（3、4年対象）の授業はなるべく履修してください。ゼミの内容を深く理解するのに必要な知識が得られると思います。

2022年4月からできた新しいゼミです。皆さんがどんどん提案してゼミを盛り上げていくことができます。私は「**しなやかに力強く社会に踏み出せる令和世代**」を輩出することを目標としています。一見、困難で苦しいと思うことでも、見方や意味付け方で全く違ったように感じる場合があります。不確実で曖昧な時代には、**しなやかさを持ってタフになる**ことが重要です。いつも希望を忘れず「楽しい」、「やってみたい」という感覚を大切にしてください。こうした感覚はとても大きなエネルギーを持っています。面白おかしく一生懸命頑張ることができる人はゼミに応募してみてください。

## 手塚貞治 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A				
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	11人	3年女	7人	4年男	7人	4年女	9人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

「成長戦略研究」

企業が成長するためにはどのような戦略をとって、どのようなビジネスモデルを構築すべきなのか、を考えていきます。教員の実務経験も踏まえて、実社会に出てからも役立つ戦略分析力を養うことを目的とします。

### (2) キーワード

ビジネスモデル、ビジネスプラン（事業計画）、経営戦略

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

現段階では下記を予定しています。

#### 演習Ⅰ（2年後期）

- ・経営戦略論の入門書（と言ってもそれなりに本格的な書籍）を輪読し、まずは「経営戦略」についての基礎力を身につけます。

課題図書の例 『経営戦略入門』網倉・新宅（日本経済新聞出版社）

#### 演習Ⅱ（3年生）

- ・前期は、実在企業について分析し、その企業の成長戦略を評価・分析していきます。教員より分析手法やフレームワーク等をレクチャーしますので、それを踏まえて、各チームに分かれてその企業の課題や戦略の方向性を発表し、全員で討議を行います。

- ・後期は、コンテスト応募を目標にチーム別にビジネスプランを作成してもらいます。

#### 演習Ⅲ（4年生）

- ・卒業論文を作成していきます。各個人が特定の業界・企業等のテーマを選定し、その業界・企業の課題

を分析し、戦略の方向性について論文にまとめていきます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

随時、ゼミ内での発表資料は提出してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

本年3月に初めて卒業生が出ました。特に傾向はなく、各種業界に進んでいます。

(IT、ホテル、不動産、金融、専門商社、製造業)

(6) 教員について(自己紹介等)

約30年間にわたり、コンサルタントとして実務を経験してきました。

研究と実務の二刀流を模索し続けており、その経験をゼミ生の方々にフィードバックできればと考えています。

本学における2023年度の担当科目は、「ビジネスソリューション」「日本の中小企業」「事業承継」「現代ビジネス」「基礎演習」等です。

(7) その他

ゼミとは、学生が主体となって学び合う場であり、教員はあくまでその支援をする存在です。そしてゼミとは、勉学だけでなく、社会人になるために必要なコミュニケーション能力等を養う人格形成の場でもあり、卒業後も続く絆を育む場でもあります。

したがって、ゼミ活動を最優先して真摯に取り組んでいただく必要があります。毎回出席したうえで、討議参加・課題作成することが条件となります。体調不良や忌引以外による欠席は原則として認めません。

積極的かつ真面目に取り組んでいただける方に対しては最大限のサポートをするつもりですので、そのような意欲のある方の応募をお待ちしています。

## 中泉真樹 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
		○		○

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済理論入門	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			経済経営数学入 門	

3年男	8人	3年女	1人	4年男	9人	4年女	2人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

ビジネスあるいは経営戦略のためのミクロ経済学を学ぼう

それらをふまえ、経営戦略を経営学とミクロ経済学の双方から理解し、実践できるようになろう

そのために必要となる数学を学ぼう（復習しよう）

教材を通して英語力（ただし読解力）を自主的に向上させよう

### (2) キーワード

論理的かつ戦略的思考力と専門的基礎力に裏打ちされた自信

ともに学びともに成長

### (3) ゼミの進め方

**2年次**：演習Ⅰでは、経営戦略に関連するミクロ経済学の初歩を中心に学び、土台固めをする。最低限必要な数学の初歩を復習のうえ、下記の主教科書の最初のほうにある **Economics Primer :Basic Principles** などを主な題材として学習・研究。

**3年次**：演習ⅡAでは、2年次の学習を基礎に、最低限必要な数学のその2（微分）を復習のうえ、主教科書等を題材に「経営戦略の経済学」をさらに深く学習・研究。演習ⅡBでは、経営学の一分野である経営戦略論の詳細を、これまで学んだ経済学的な知見で、批判的に相対化して徹底学習。

**4年次**：演習ⅢA・Bは、個別研究とそれに基づく卒業論文の作成。個別研究とはいえ、ゼミ生全員でテーマを互いに共有、相互に批判・検討、切磋琢磨して、優れた論文に仕上げる（そのチームワークを重視）。論文のテーマは、経済学、経営学、会計学にかかわっていれば、原則、なんでもよい。

**3・4年次合同のサマーセミナー**：① 3年生による「演習ⅡBの出発点的な内容」に関する学習報告をすでにその知識のある4年生がコメント。相互に理解を深める。② 4年生による卒業研究の中間

報告。4年生のみならず、次の年には論文を書くことになる3年生も積極的に質問・発言。ディスカッションを盛り上げる。

2年次演習Ⅰと3年次演習ⅡAの主教科書は

D. Besanko, D. Dranove, M. Shanley, S. Schaefer (2017) *Economics of Strategy* 7th edition, John Wiley & Sons (英文教材はこちらで準備)

3年次演習ⅡBでは、(経営学からみた)経営戦略論の本も主教科書とする(未定)。

2023年度の例

網倉・新宅(2011)『経営戦略入門』、日本経済新聞出版社

宮昌人, 楊皓, 小池純司(2020)『日本型プラットフォームビジネス』、日本経済新聞出版社。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

(これまで) とくになし。今後はあるかも(未定)

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

とくに傾向はない。コンサル、IT関連、商社、流通、不動産、旅行会社、ホテル・レジャー業関連、銀行、保険、証券、建設、メーカー、公務員、大学院進学など、多岐にわたる。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門分野は**応用ミクロ経済学**。とくに**産業組織論**(誤解をおそれずにいえば、この産業組織論を企業が上手に利用すると、ポジショニング学派の経営戦略論になる。それをみごとにやってのけたのが、マイケル・ポーターという学者。どんな人が調べてみてください!)と**医療経済学**。

(7) その他

応募にあたって留意してほしいこと を書きます。

☞ **シラバス** も、きちんと読んでください。シラバス上、このゼミの**到達目標(の前半)**は、以下のようになっています。

「企業の経営戦略(企業戦略・事業戦略)に必要な経済学の初歩的な概念を説明でき、それらを使って実際の企業の経営戦略や産業組織を分析できるようになる。それらを踏まえ、より実践的な業界分析や戦略立案ができるようになる。」

うまくビジネスを成功させるには、**ミクロ経済学**的なセンス(経済的な諸関係に対する深い洞察力:たとえば簡単などころでは、自社がつける価格と自社製品に対する需要の因果関係はどうなっているか、少し複雑などころでは、ライバル他社の出方をどう読むかなどの**ゲーム理論**的視点)がけっこう役立ちます。しかし、**ミクロ経済学**の学習には、**抽象的な思考力**が要求されます。必ず、**ミクロ経済学**がどのような学問か、テキスト(私自身の著書を含め、たくさん、出ています)などを手に取ってしっかり調べ、**自分に向いているかどうか**、じっくりと考えてください。**「思ったのと違うゼミだった」ということがないようにしましょう!**

**卒論を仕上げるまでがんばれる方の応募を望みます。**

- 選考は「筆記試験」によります（5月25日（土）5時限を予定。入ゼミ希望の方は他に予定を入れないください）。このゼミでは、ある程度の英語力（読解力）、数学的な思考力、『日本の経済』レベルの経済・経営・会計の基礎知識を前提にしますので、その点を評価させていただきます。



## 中田有祐 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
	○	○	○	

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	会計入門		経営入門	財務会計（入ゼミ後でも OK）
コンピュータと情報Ⅰ	基礎演習 B			簿記の基礎	

3年（男）	14人	3年（女）	11人	4年（男）	8人	4年（女）	17人
-------	-----	-------	-----	-------	----	-------	-----

### (1) テーマ：「財務会計」「国際会計」「企業分析」

会計をただ学ぶだけでなく、それらを用いて実際に企業を分析することで実践力を養います。全体としては会計・経営の知識を活用した企業分析に最も比重を置きつつ、会計理論や周辺領域の勉強もしつつ、外部コンテストなど会計以外のテーマにも取り組みます。

### (2) キーワード：

雰囲気は楽しく、学びは妥協せず

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

#### ①授業期間：

2年後期～3年前期までに、教科書（2,000円程度）2～3冊を用いて、財務会計・財務諸表分析、経営戦略、国際会計の基礎知識を身につけます。そのうえで、興味をもったテーマについてより深く学んでいきます。なお、外部コンテストへの参加の際は、会計とは離れたテーマも扱います。

進め方は、担当グループが資料を準備し、全体発表（または2～3グループに分かれ相互共有）を行い、発表テーマに関するグループワークや発表に対するフィードバックを行う、という形式です。**卒論以外のほぼすべての活動は、グループ単位で取り組みます。**また、合同ゼミやコンテストなど、大きなプロジェクトの直前には、ゼミの時間外に適宜、グループごとの個別指導も行います。

(参考：現3年生のスケジュール)

2年後期：企業分析①(財務諸表分析)、テキスト輪読①(財務会計)、テキスト輪読②/企業分析②(経営戦略)、外部コンテスト(マイナビ・課題解決プロジェクト)、学内合同ゼミ
3年：企業分析③(経営分析+企業価値評価)、外部コンテスト(神奈川産学チャレンジプログラム)、学内ゼミ成果発表会、4大学インターゼミ、『の～びのび経済』論文投稿
4年：卒業論文執筆

②サマセ・スプセ：【※合宿に加えて、2～3回程度、学内でのゼミも行う】

合宿は、主に企業を仮想経営する「マネジメントゲーム」を行います。関東近郊で行い、交通費込みで1回あたり3万円程度です。学内で行うゼミでは、その時に取り組んでいる内容（教科書やプロジェクト）の学習を進めます。

③ゼミ外での学習活動：

外部コンテスト、学内外のゼミとの合同ゼミに参加します（①のスケジュールを参照）。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

3年後期に行う他大学との合同ゼミの報告と学内ゼミ成果発表会での報告について、論文調に整え、グループ論文形式で執筆してもらいます。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

中田ゼミは創立12年目で、卒業生は10期生まで出ています。就職先は、金融業（証券、地銀、信金など）とIT関連業（会計・金融のシステム）がやや多いですが、その他は、業種・職種はさまざまで特段の傾向はありません。

(6) 教員について(自己紹介等)

研究は、財務会計理論・国際会計に関するテーマが主です。性格はマイペースで、座右の銘は「蓼（たで）食う虫も好き好き」。何事も拒まずに、まずは受け入れる姿勢が肝心と思っています。趣味は、音楽鑑賞（特にメタル）、PC自作など。聞きたいこと・相談ごとがあれば、気軽にメールで連絡ください。

(7) その他

①複数学年・連コマでのゼミ

先輩・後輩間の交流を深め、また先輩からフィードバックを貰う等して学習内容を深める目的で、**複数学年合同・連コマ**でゼミを行っています。2024年度後期は、2年生は金5・6限に参加してもらう予定です。（※必修の英語が当該時間に入っている場合などは、個別に配慮。）**毎週2～3コマ連続でのゼミ参加**が前提となりますので、注意してください。

②課外活動（飲み会・食事会）

懇親会も随時開催しています（全体で半期に1回ほど、有志で毎月）。毎年、卒コンやOB会も開いています。（ここ数年はコロナ禍で開催が減っていましたが、そろそろ平常運転に戻りそうです。）

③ゼミ選択について

ゼミは、サークルやアルバイト以上に大学生活の軸となり、卒業後も関係の続く活動です。ゼミを選ぶ際には、自らの将来を考えるとともに、各種情報源をフル活用して必要な情報をつかんでおきましょう。そのためにも、教員目線の情報（募集要項）だけでなく、学生委員会作成のゼミ紹介冊子やゼミ紹介動画・ゼミ紹介画像などの学生目線の情報も活用してください。また、実際のゼミの雰囲気や学び方を知るために、個別ブース相談会と公開ゼミへの参加も強く推奨します。

## 根岸毅宏 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			財政の基礎	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	6人	3年女	11人	4年男	8人	4年女	9人
-----	----	-----	-----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

根岸ゼミでは、「現代の経済・社会問題」を学び、その解決策を考えます。

ゼミのテーマが「現代の経済・社会問題」と大きなものになっていますが、これは私の学問分野と関係しています。私の専門は財政学という分野で、政府の活動や制度・政策を研究する学問です。政府の活動は多岐にわたり、また中央と地方とですみずみに広がっています。話題になる経済・社会問題のほとんどに政府が何らかの形で関係しています。政府の政策手段を解説した *The Tools of Government* では、歳入面での租税、歳出面での補助金や貸付のみならず、規制、委託契約、バウチャー、協働などなど、数多くのものが出ています。こうした政策手段を使って、今おこっている経済・社会問題にいかに対応するのか、これらすべてが根岸ゼミでの研究の対象になります。

各自が興味・関心に合わせてテーマを設定し、勉強してください。

テーマの設定は自由でも、2年次、3年次、4年次で行うゼミの課題は決まっています。以下の(3)に書いてあります。よく読んでください。

### (2) キーワード

根岸ゼミの特徴は、ゼミでの学び方も大事にしています。キーワードは、3つあります。

第1は、**グループワーク**です。グループを基本単位として活動します。外部コンテストに参加してグループ論文やプレゼン資料を作成する時だけでなく、卒業論文を書く時も、卒業論文の執筆は個人ですが、スケジュール管理はグループ単位で行います。

第2は、**目標ミーティング**です。根岸ゼミでは、「タテとヨコ」のつながりを大事にしています。ヨコのつながりをグループワークで実践するなら、タテのつながりは目標ミーティングで実践します。これは、上級生と下級生で4名のグループを作り、それぞれが設けた目標に到達するようにフィードバックを行います。

第3は、**成長のサイクル**です。成長するためには、①自ら物事に取り組み、②自分自身が上手くできたと感じ、③他人から評価され（褒められ）て上手くできたことを実感し、④いっそう力を入れて取り組むこと、を実感する必要があります。この成長のサイクルを、グループワーク、目標ミーティングを通して実感してください。

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2年次、3年次は、主として、①外部コンテストへの参加、②グループ論文&プレゼン資料の作成、③卒業論文のテーマ決め、④学外の他ゼミとの交流を行います。

①外部コンテストとしては、外部の団体が実施するオープン参加のコンテストに参加します。2年後期と春休みに2つ、3年前期と夏休みに2つのコンテストに参加します。そのために、②グループ論文やプレゼン資料を作ります。外部コンテストで評価を受けて、学習の成果を実感します。

このように、外部コンテストに参加しながら、自分が興味を持つテーマを見つけ、③卒業論文のテーマと決めてください。

さらに、④学外の他ゼミと発表会（プレゼン大会、卒論発表会など）を行い、交流して、視野を広げてください。

これらについて、どのように学習すればいいのか、ゼミでの学び方は、目標ミーティングで先輩に相談できますし、時には教えてもらえます。また、いつまでに何をすればいいのか、ゼミでの学習管理については、グループでの役割分担でしっかりと管理できます。

4年次は、卒論を作成します。卒業論文も、グループでのスケジュール管理を基本としますので、自分だけ遅れることなく、グループのメンバーと同じ歩調で卒論を書き、完成させます。

ゼミ合宿は、ゼミ生同士の交流もかねて、夏休みと春休みに行います。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

1つ上の(3)で書いてあります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

特別な傾向はありません。ほとんどが、第1希望から第3希望くらいまでの企業に就職しています。また、就職した後で、目標ミーティングで経験した教えること・教わるのが、すぐ役立つという意見を、卒業生からもらっています。

(6) 教員について(自己紹介等)

研究テーマは福祉国家財政の研究です。より詳しくは、第1に、アメリカの貧困対策・所得保障政策、政府間関係を研究しています。第2に、日本の社会保険や社会保障の財政問題も研究しています。

(7) その他

①根岸ゼミに向いている学生

ゼミ生同士で相互学習することが好きな学生が向いています。とくに、コンテストに参加する3年次は、授業以外で週に2回程度はグループで集まり勉強します。「**グループワーク=怠けられる**」と思っていると、大変な目にあいます。

②課外活動（卒業論文発表会、懇親会、OB・OG会など）

ゼミ合宿以外にも、ゼミ活動の一環として、授業外で行うイベントが年に数回あります。こうした課外活動もゼミ活動なので、ゼミ生には参加してもらいます。

③質問は大歓迎です。公開ゼミの時か、メールで連絡ください。



## 芳賀英明 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A				
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	7人	3年女	12人	4年男	7人	4年女	13人
-----	----	-----	-----	-----	----	-----	-----

(1) テーマ 消費者の視点から学ぶマーケティング問題 -学術および実務から消費者を理解する-

(2) キーワード

マーケティング、消費者行動、新製品開発、広告コミュニケーション、ブランド戦略、マーケティングリサーチ

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

芳賀ゼミは「マーケティング」のうち、消費者がなぜ買うのか、いつ買うのか、何を買うのか、どのように買うのかについて「消費者行動論」といった心理学と関連の深い分野を中心に研究を深めています。

消費者の視点から学ぶマーケティング問題（商品開発、広告コミュニケーション、ブランド戦略 etc…）についてグループないし個人で研究を進めます。その中で、“マーケター”に必要とされる様々なスキル(情報収集力、分析力、企画力、プレゼンテーション力など)を獲得することを目指します。過去のマーケティングでは、企画開発担当者の直感に大きく依存していましたが、現代では市場の急激な変化とテクノロジーの発展により、大量のデータを解析し消費者行動を理解することが重要視されています。そのため、本ゼミでは、データ分析を通じて得られた消費者の行動パターンや傾向を基に学術からの理論を援用してフレームワークやモデルなどを構築し、それを実務に応用することで、より効果的なマーケティング戦略を立案することに取り組んでいきます。

ゼミの進め方としては、**基本的に学年ごとに取り組めます**。ただし、**先輩・後輩の交流を深めるため、年に数回になります**が複数学年合同・連続コマで取り組む予定です。その際、予め合同授業をすることについて案内をすることで、自分の履修する授業時間以外にも予定を空けて参加してもらいます。また、**通常の授業以外に、ゼミ合宿(夏季休業中)を実施する予定**です。基本的に相談しながら日程、場所、内容を決めていきます。

### ■ 演習ごとに取り組むテーマ(予定) ■

#### 演習Ⅰ

・ゼミ生は消費者の視点からマーケティング問題の基礎についてグループ研究を通して学びます。

→マーケティングリサーチのうちの定量調査でよく使われる多変量解析実習を行います。具体的には、分散分析(特に、二要因分散分析)、回帰分析、因子分析、クラスター分析などに取り組めます。グループ毎に好きなテ

ーマを決め、調査・分析の後、プレゼンテーションをしてもらいます。

※統計学の初心者の方でもご安心ください。このゼミでは、基礎から応用まで段階的に学べるようにカリキュラムが組まれており、わからないことがあればいつでも質問が可能なサポート体制を整えています。統計学の経験は問わず、積極的に学ぶ姿勢を持つ学生が成長できる環境を提供しています。

## 演習ⅡA・ⅡB

・ゼミ生は消費者の視点からマーケティング問題の発展についてグループ研究を通して学びます。

→【学術】学術的な研究を踏まえ、自分たちの興味・関心のあるテーマのもと(例えば、企業とのコラボである産学連携を見据えたものから、学生の趣味・好きなことに関わるものまで)、マーケティングリサーチのうちの定量調査に基づいた実証研究についてプレゼンテーションをしてもらいます。**2024年度の公開ゼミでは、現代的な消費行動についてのテーマを扱います：推し活の消費行動、有名人の推奨とリスク管理、性格タイプとサブスクリプションサービスの利用傾向、原産地国効果と消費者のブランド認識などを予定**

→【実務】産学連携による商品開発・共同研究に取り組みます。先方の都合もあるため、現時点で何をするかは未定ですが、実践的なビジネス経験を積む絶好の機会を提供します。

## 演習Ⅲ

・ゼミ生はマーケティングのうち、消費者行動領域に関する自らの興味・関心のあるテーマのもと、マーケティングリサーチに基づく卒業論文の執筆に取り組みます。

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など) 特にありません。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

食品、住宅、コンサルタント/専門コンサルタント、マーケティングリサーチ、物流、地方銀行、通信などです。基本的に、マーケティングや消費者行動の知識を活用できるような就職先を希望する傾向があります。

(6) 教員について(自己紹介等)

専門はマーケティングのうち、消費者行動論。趣味は、スポーツ観戦(特に、高校野球)、旅行、お酒を飲むこと、甥っ子と遊ぶこと(実際は遊んでもらっている??)など。最近では、研究会に参加をしている関係で、デジタル経済下における消費者行動(特に、AI・生成 AI が消費者行動に及ぼす影響)に強い関心を寄せています。

(7) その他

■求める人物像■ 以下に定める要件を有し、卒業まで継続して履修できる方のみ応募してください。

①知的好奇心と行動力に富んでいること

■マーケティングや消費者行動に関して、実践を通じた深い理解を目指します

②研究活動だけでなく、課外活動(ゼミ合宿、懇親会、他大学との合同ゼミなど)にも積極的に取り組めること

③研究活動や課外活動に貢献できる協調性を持ち合わせていること

④自由度の高いゼミではあるが、ゼミという組織の一員であることをきちんと認識した上で教員および他のゼミ生と良好な人間関係を構築すること



## 濱田高彰 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済理論入門	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			経済経営数学入門	

3年男	14人	3年女	1人	4年男	人	4年女	人
-----	-----	-----	----	-----	---	-----	---

### (1) テーマ

このゼミでは、ゲーム理論や行動経済学を用いて、独自の理論モデルの作成や模擬実験による分析を行います。ゲーム理論は、「人々による駆け引き」を記述する理論であり、行動経済学は、ヒトのいわゆる「非合理性」（認知の歪みや近視眼性など）や「他者に配慮する性質」（利他的行動など）について探求する学問です。これらの理論は、ごく身近な出来事（日常の意思決定や友人・家族・恋人との関係）から企業間や国家間の出来事まで、非常に広範囲にわたる人間行動や社会現象を分析対象としています。それゆえ、ゼミ生は豊富な選択肢の中から関心のあるテーマを設定することができ、自由に分析を進めることができます（真面目なネタもよし、キャッチーなネタもよしです！）。独自のモデル分析などを通して、身の回りや社会に起こる現象の背後にある仕組みを、自分の頭で考え、捉えられるよう訓練をしていきます。

またこのゼミでは、グループでのタスク遂行やゼミ生同士のコミュニケーションを重要視するほか、発表資料やプレゼンする方法などについても適宜フィードバック・ふりかえりを行います。これらを通して、社会人基礎力も養成していきます。

### (2) キーワード

ゲーム理論、行動経済学、理論分析、実験デザイン、模擬実験、統計分析

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

#### 【2・3年次】

普通のゼミは、以下の流れで実施します（以下の内容を3回の授業に分けて実施します）：

- (i) 教科書の指定部分を参考に、まずは各自でテーマを設定した上で独自のモデルや実験デザインを作成し、グループ内で発表し合う
- (ii) 各自の発表をもとに、グループで1つの成果物を作成する
- (iii) グループの成果をクラス全体で発表する



3回分の授業を用いて1つのプロジェクトを行い、半期で合計4つのプロジェクトを実施します。また学期末には、それまでに作成した成果物の中から1つを選択し、グループで更なる改良を加えた上で、レポートにまとめてもらいます。

#### 【4年次】

卒業研究に取り組みます。2・3年次に身につけたスキルを活かして、理論分析や模擬実験による分析を行ってもらいます。基本的には個人ワークですが、定期的にゼミ生同士で進捗を報告し合うなど、各自の研究について全員で議論します。

#### 【研究発表大会、その他の活動（合宿やイベントなど）】

学内外の研究発表大会等に参加する可能性があります。またその他の活動（合宿やイベント等）については、ゼミ生の希望に応じて実施します（この点については、慣例を作るつもりはありません）。有意義なゼミとなるよう、各年代で主体的に考え、独自の文化を作っていただけたらと思います。

#### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

【2・3年次】上述の通り、各学期末にグループによる最終レポートを提出してもらいます。

【4年次】前期末に卒業論文のテーマおよび簡単な分析結果を提出してもらいます。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

着任1年目であるため、実績はありません。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

「ゲーム理論」や「行動経済学」に関する理論・実験研究を行っており、主に「社会的選好」と呼ばれる「ヒトの他者を考慮する様々な性質」と、それに関連した戦略的状況に関心を持っています。最近では、「顕示的消費」や「望ましいチーム構成」について理論的な分析を行っています。

出身は兵庫県で、小中高はサッカーをしていました。大学時代は経済学の勉強を頑張りつつ、学習塾でのアルバイトや小学校の野外活動の補助員などもしていました（昔から教育に関心を持っていたように思います）。趣味は歌うこと、YouTube鑑賞（ダラダラと…）、フットサル、お笑い全般です。

#### (7) その他

ゼミでは、まずは楽しんで活動してもらいたいです。楽しければ意欲も湧いてくるでしょうし、学びも多くなるでしょう。この意味で、「グループメンバーとうまく交流すること」、そして「分析のテーマ選択」が重要だと考えています。ゼミが楽しくなるようなイベント等も、ぜひゼミ生同士で色々企画してください。

また、1つのテーマをとことん極めるという経験をしてもらいたいです。もちろん各プロジェクトにおいて時間は限られますが、完成した（と思っている）成果物に対して、「何か欠点はないか（どんな批判が来そうか）」「もう1つ2つ追加で面白い分析ができないか」など、とことんメンバー同士で議論してみてください。ゼミで「考え抜いた」経験が、今後の皆さんの糧となることを期待しています。

## 林行成 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済理論入門	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	5人	3年女	2人	4年男	人	4年女	人
-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

### (1) テーマ

当ゼミのテーマは、「医療から日本の経済社会を考える」です。

日本の国民医療費は現在約 45 兆円。この金額だけみても、医療産業は GDP の約 8% を占める巨大産業です。そして、高齢化が加速するこれからの時代、医療はまさに日本の重要な成長産業と言えます。しかし、医療は持続可能性に大きな問題を抱えています。このゼミでは、医療の問題を経済学的な分析を通して、みなさんと検討していきたいと思います。

ただし、その前提として経済分析のスキルがどうしても必要です。ゼミを通して、経済分析の基礎（経済理論とデータ分析による実証）を修得し、論理的な思考技術を高めながら、医療を中心軸に日本のこれからの社会のあり方を、広い視野と精緻な分析を通して検討していき、社会で役立つ人間力を皆さんとともに高めていけるようなゼミにしたいと思います。

### (2) キーワード

医療経済学、社会保障論、ミクロ経済学、ゲーム理論、産業組織論

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

#### 【2年次】

ミクロ経済学やゲーム理論などに関わる入門書を輪読し、基礎的な経済分析のスキルを身につけていきます。数学的なハードルがある場合には、適宜数学のテキストなどを用いて、数学的分析能力も高めていきます。

輪読では、毎回担当者にプレゼンテーションをしてもらい、議論しながら、メンバー全員で理解を定着させていきます。輪読するテキストについては、メンバーの希望も踏まえて決定します。

#### 【3年次】

医療経済学に関する専門書を輪読し、医療問題や医療制度の理解を深めつつ、経済分析を通して問題の本質を踏まえた解決方法について議論していきます。テキストを読みながら、その都度分析手法に関する理解も深めていき、本質的に問題をつかみ分析できる力を修得することを目指します。

また、各自で興味のある問題に対して、プレゼンテーションやディスカッションも行いたいと思います。前任校では、ビジコンへの参加、企業や病院の調査、学会への参加・研究発表なども行いました。座学だけでなく、リアルの現場を見て感じて理解するような場も設けたいと思います。

#### 【4年次】

卒業論文の作成に取り組んでもらいます。テーマは経済分析の対象となるようなものであれば何でも自由に選んでもらって構いません。適宜、研究内容をプレゼンしてもらい、メンバー全員で意見交換を進めながら、卒業論文を作成してもらいます。

#### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

現段階では具体的に考えていませんが、ゼミで扱う何かしらのテーマをもとに、レポート作成とプレゼンテーションをしてもらおうと思います。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

着任1年目ですので、本校での実績はありません。

なお、前任校では、医療関係の学科に所属していたこともあって、当ゼミの卒業生は医療分野での就職先が多い傾向にありました。例えば、国立病院機構、日本赤十字社、各自治体の公立病院といった大規模病院の経営スタッフ、アストラゼネカ、ベーリンガー・インゲルハイム、ブリストルマイヤーズ・スクイブなど大手製薬企業、デロイト・トーマツといった大手コンサル企業などが主な就職先として挙げられます。OB/OGのうち3名は起業していて、医療系M&Aコンサル企業や、旅館M&Aといった事業を展開しています。

就職先は皆さんが決めるもので、私自身は医療分野に就職して欲しいということはありません。医療関係に興味がある人も、そうでない人も、皆さんが自分の将来をしっかりと考え、幸福になれる進路を選べるようサポートしたいと思います。なお、私自身が公務員試験（現在の国家公務員採用総合職試験）を経験しているので、公務員指導には対応できると思います。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

専門は、医療経済学、産業組織論です。医療制度・政策、医薬品産業、病院経営を経済学的に分析するような研究活動をしています。最近では、特に医薬品産業の経済分析や公立病院の経済経営分析を行っています。

栃木県宇都宮市で生まれ、鹿児島県鹿児島市で育ちました。大学進学で東京に上京し、大学卒業後に国家公務員I種試験（経済職）に最終合格しましたが、経済学者になりたく大学院に進学しました。大学院時代には大手公務員試験予備校で講師をし、ミクロ経済学やマクロ経済学を中心に教えていました。

大学教員として広島国際大学に赴任し20年間の広島での生活を経て、2024年4月に國學院大学に赴任しました。趣味は、飲食、音楽、車、旅行などで、東京に再上京したのを機に、関東、東北も巡りたいと思っています。

## (7) その他

私のゼミに対する考えを、偉人たちの言葉を借りて示したいと思います。

### 1. 「すぐに役に立つものは、すぐに役に立たなくなる」

人間は易きに流れやすく、目先の利益を追いがちです。しかし、長期的な視点で考え行動できることが、人生や企業の成功のための大きな要因の1つだと思います。このゼミでは、こうした長期的な視点から論理的かつ戦略的に考えるチカラを、ゼミ活動を通して育成できればと思っています。

### 2. 「God is in the details. 神は細部に宿る」

何事も細部に神は宿ります。ごまかすことなく、人の見ていない細かいところにこそ、手を抜かずに取り組むことが大事です。ゼミでも、細かいところに手を抜かないという心構えを持ち、常に前向きに向上心を持って努力し続けられる人を歓迎します。

### 3. 「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」

道徳心と経済学的な思考技術は、経済に生きる我々にとってどちらも欠かせないものです。このゼミでも、論理的で分析的な議論をしながらも、高い道徳心と社会貢献意欲を持って、社会や自らを考え成長できる場にしていきたいと思っています。

## 藤山圭 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
○	○	○		

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	経営入門		経営戦略	経済理論入門
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			経営組織	会計入門

3年男	6人	3年女	6人	4年男	10人	4年女	3人
-----	----	-----	----	-----	-----	-----	----

### (1) テーマ

経営学のディシプリン（社会学，心理学，経済学等），戦略論・組織論・マーケティング

### (2) キーワード

経営学，戦略論，組織論，イノベーション，マーケティング

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

企業経営に関連した社会現象を自分なりに分析し，説明できるようになるために，多様なフレームワークの学修と具体的な事例分析を両輪としたゼミナールを開催する。

経営学を学修する目的の一つは，現実の社会（とりわけ経営に関する社会現象）の動きに対して自分なりの読みを生成できる実務家になることである。そのためには，理論を学び，実際にそれを使っ

て分析し、フィードバックを受けるとい理論と現実の往復運動が必要である。本ゼミナールでは経営学的な力量を身に着けるために、この一連のプロセスを行う機会を提供する。

2年次は、輪読と事例分析が両輪となる。輪読では主に社会学・心理学・経済学等の文献を読む。経営戦略論等の文献を読んだりレクチャーしたりはしない。それらは全て講義で学修することを前提としている。多分今年は経済学の文献を読む。

2年次後半から3年次はもう少し難しい書籍や論文を輪読し、論文の書き方や調査のまとめ方を含めた学修を進め、並行して事例分析を行う。3年次は、参加したければ外部のビジコンへの参加をバックアップし、12月にはゼミ成果発表会に参加するなど、成果を対外的に公表する機会が増える。これらを通じて4年次に卒業論文の執筆を行うための分析力・思考力を磨く。

正課授業以外の予定としては、夏に3泊の合宿（2・3年次のみ）、懇親会（不定期）を予定している。2年次の春休みには2週に1回のペースでスプセ、11月頃にはOBOG会。

なお、例年グループワークを実施しているが、人数の関係で不本意ながら実施しているだけであり、人数が少なければグループワークを実施しない。グループワーク目的で藤山ゼミを志望することはお勧めしない。

#### (4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習Ⅰ：輪読レポート（2年次の1月；A4で4～5枚）、事例分析レポート（3年次の5～6月頃まで；A4で10枚-20枚程度）。

演習Ⅱ：輪読する書籍によっては毎週レポート、事例分析レポート（3年次の12月頃まで；A4で10-20枚程度）、ゼミ成果発表会（3年次の12月；PPTで20枚程度）、ゼミ成果発表会要旨（3年次の1月；A4で1-2枚）。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

不動産、生命保険、専門商社、製薬、公務員、家業の承継、小売り、コンサル、飲料メーカー、金融、IT等、これといった傾向はありません。

(6) 教員について(自己紹介等)

主な研究テーマは、ゲーマーコミュニティを対象としたコミュニティの生成・発展や、技術継承、組織アイデンティティ、ブランド認識等についての研究

オタクで根暗で人間嫌いなので、社会とのかかわりを出来る限りなくそうと努力しています。趣味はデジタル・アナログゲーム全般と映画、カメラ、料理、漫画、野球など。

(7) その他

①コマについて

複数学年合同で開催する。公開されている開講時間の前後1コマには授業を入れないようにすること。原則として2コマ連続で参加することが前提となる。

②単位取得について

## 卒業までに「経営戦略」「イノベーションマネジメント（経営学科の学生のみ）」の履修を完了し

ていない場合、ゼミの単位は認定されない。

### ③ゼミのスタンス

ゼミナールは、大学生活で最も優先しなければならない活動である。アルバイトやサークル活動、旅行、就職活動、帰省、デートなど学生にはやらなければならないことが多く存在しているが、ゼミナールはこれらに優先される。それは、ゼミが大学における学修の中心的な位置づけであると同時に、ゼミと一緒に学ぶ仲間や教員との交流は一生続いていくものだからである。

藤山ゼミでは、それなりに難しい書籍をかなりの準備時間をかけて読んできてもらい、高い水準のレジュメの提出を要求し、それに対して教員も厳しく指導する。レポート課題もそれなりの分量を課される。しかしながら、学生諸君が努力した分だけ成長できるよう教員も全力で指導するので、厳しいゼミでしっかり学びたいという意欲のある学生は是非受講してほしい。そういう人へのサポートは惜しまない。知的に楽しいゼミにしたい。

### ④藤山ゼミを選択肢に入れている人へ

経営学だからとか、経営戦略のゼミだからとか、経済学よりも経営学の方がいい、という理由での志望はお勧めしません。輪読は基本的にディシプリンの書籍になりますし、研究内容も自分のやりたいこととはミスマッチする可能性があります。何をやってもいいから、藤山という陰気で皮肉屋な人間を師匠にしても後悔しない人、要するに教員との相性がいいと判断できる人のみ志望してください。

### ⑤藤山ゼミに適した人材像

謙虚な人、知的好奇心がある人、勤勉な人。協調性や外向性はあるにこしたことはありませんが、別になくてもいいです。



## 星野広和 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	経営入門		経営組織	経営戦略
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			経営学史	会計入門
				マーケティング の基礎	

3年男	9人	3年女	15人	4年男	15人	4年女	7人
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	----

### (1) テーマ

現代企業の経営課題とその理解 —事業の創造, リーダーシップ, 成長の戦略, 戦略の転換—

### (2) キーワード

社会科学、経営学、経営課題、理論と現実の同時理解

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

本演習では、企業経営をめぐる諸問題に関して、社会科学の思考法をベースに、経営に関する基本的な諸概念、ロジックを学習したのち、その分析枠組みについてできるだけ具体的なケースを踏まえつつ理解する。その際、特定の専門分野のみを学習するのではなく、「経営学」全般（経営管理、経営組織、マーケティング、財務会計等）の知見はもちろん、場合によっては「心理学」「社会学」「経済学」「歴史学」などの知見を踏まえて「総合的」に学修する。

2年次は企業経営の全般的な問題について、特定の時代や場所に依拠しない一般的・普遍的なものを意識して取り上げる（『小倉昌男 経営学』）。3年次は「神奈川産学チャレンジプログラム」への参加を通じた実践的な「課題解決型学習」（Problem Based Learning）に取り組む。3年前期の演習は、このプログラムでの取り組みにおいて参考となる基本ロジックとフレームワークを含んでいるので、レポート作成と同時並行的に進め相互理解を深めていく。3年後期の演習では、「ゼミ成果発表会」に向けてグループに分かれ、研究およびスライド作成を行う。これによって、「理論と現実の同時理解」を目指すとともに、4年次の「演習ⅢA・B」（卒業論文）へ向けた基礎的知識やフレームのインプットとして位置付ける。以上についての詳細ならびにゼミの進め方についてはシラバスを参照されたい。

なお、正課授業以外として、懇親会（半期2回程度）、OB・OG会（年1回）を実施している。

#### (4) 卒業論文以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

演習ⅡAでは、神奈川産学チャレンジプログラムの報告書を作成する。演習ⅡBでは、ゼミ成果発表会に向けてテーマに関して具体的な事例を踏まえたレポートをそれぞれグループ単位で作成する。いずれもA4用紙15枚（図表、参考文献含む）以上が目安。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

メーカー（電機・飲料・食品など）、金融・証券（カード会社含む）、保険、不動産、小売、卸売（専門商社）、アパレル、サービス、IT、広告、マーケティング、コンサル、航空、鉄道、税理士事務所、小学校教諭等、業種の傾向はあまりない。具体的な企業名が知りたければ直接尋ねてほしい。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

山形県川西町（米沢市の隣町）出身。専門は経営管理論、経営組織論、経営戦略論。座右の銘は、「祖国があなたに何をできるかを問うのではなく、あなたが祖国に何ができるかを問うて欲しい。」  
(by John F. Kennedy)

#### (7) その他（ゼミ希望者へのメッセージ）

##### 【大学およびゼミでの学び】

①常に問題意識をもち経営の現象や問題と結びつけること、②問題を発見・解決するための知識や情報を自分自身でサーベイ（専門書、論文、データ、調査等から）すること、③自分の主張について根拠を持って説明すること。何より、「自ら研究したいという強い欲求をもつこと」が大前提である。

##### 【ゼミの捉え方】

ゼミは「専門テーマを学ぶ場所」だけでなく、「他者と協働して根気強く共通テーマに取り組む場所」でもある。また、人間性や道徳性を高める「人格を陶冶する場所」として捉えて欲しいし、結果として社会的に有用な人材輩出ができるように鍛えるつもりでいる。最後に、2年半の演習で完結するのではなく、その後も何らかの形でゼミとのつながりを維持してくれることを期待する。



【令和6年度】演習I（星野ゼミ）エン  
トリーフォーム



## 細井長 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A	世界経済入門	経営入門		
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B	経済理論入門			

3年男	2人	3年女	2人	4年男	1人	4年女	2人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

「グローバル・エコノミーとビジネス—新興国市場攻略の戦略」

国際経済と国際経営の分野で各自が関心をもっているテーマを個人で深めていくことがこのゼミのスタイルです(グループワークではない)。現 3・4 年生は開発経済、インド経済、異文化経営、国際 HRM、欧州経済、移民問題、国際マーケティングといった関心領域をもっています。

### (2) キーワード

国際経済 途上国経済 国際経営

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

2 年後期は統一テキスト(英語文献)を用いて、3 年以降に備え基礎知識の定着、読書習慣の確立、文献の探し方などアカデミック・スキルの涵養を図ります。(セメスター留学等で 2 年後期に事情がある人は必ず応募前に相談してください。)

3年以降のゼミについては学年合同2時間連続となり、自分たちで進め方を決めてもらい、個人のテーマも自分で設定することになります。ゆえに「与えられた」課題をきちんとこなすこと「だけ」が得意な人は向いていません。参考までに今年前期の場合は、1時間を卒論に向け各自が関心をもっている分野についての専門書を読んだ上で報告・討論を行い(3年前期はリーディング・アサイメントに従って進める)、もう1時間でビジネス・ケース討論を行っています。

夏休みにはゼミ合宿を行います。後期は両学年共に卒論に向けた報告が中心になります。そして、4年の終わりには卒論を書き上げます。

なお、夏合宿は国外で実施します(3年と4年の2回、違う国)。現地では関係機関、企業、援助団体など訪問・視察を行います。机上の勉強だけではなく、実際に経済・経営の現場を自分の肌で実感する貴重な機会ですが、「観光」旅行ではありません。今夏は9月にジャカルタ(近郊)に行きます。現地での企業訪問は貴重な経験になります。手配等はすべて自分たちでやってもらいます。

#### (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

3年終了時に10,000字程度の3年次論文を提出してもらいます。

#### (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

就職率100%を初代から継続中です。業界は様々。ただしキラキラ系はいない。珍しい就職先としては、政令市中学校の社会科教員(経済学部では十年に1人レベルの現役合格)や、一般企業就職後に公認会計士の資格を取得して4大監査法人に転職したOBがいます。不況時にも安定・確実に就職を決めていきます。「勉強の仕方を学ぶ」ことを常に念頭に置いていて、これは就職後に役立ちます(残念ながらゼミで勉強した内容は仕事にはほとんど役立ちません)。

また、毎年秋に OB 会があり色々な話を聞くことができるとともに(OB 会だけでなく随時、顔を出してくれたりします)、タテのつながりも強めています。卒業後も OB 会があり、現役ゼミ生のサポート、また学年を超えて交流があり、「大人のゼミ合宿」をしたりしている代もあります。こういうところが嫌いならば、他のゼミに行くべきです。

#### (6) 教員について(自己紹介等)

2006 年に着任、担当する授業科目としては「世界経済入門」、「国際経済」、「国際経営」などです。

#### (7) その他

・日本でも星野リゾートのように喫煙者の採用をしない企業が増えてきています。選考の際、電子タバコを含む喫煙者のプライオリティは最下位にします(2010 年にこの方針を打ち出して以降、これまで喫煙者でこのゼミに合格した人はいないことを申し添えます)。

・卒業までに「国際経済」、「国際経営」の単位は必ず取ってもらいます。また、他ゼミで行うようなゼミ合宿ではない形の合宿が 3 年と 4 年夏の 2 回あります。その点も承知してください。

・応募のための事前条件として、世界経済入門、経済理論入門、経営入門の 3 科目は 1 年次に単位を修得済みであることを条件とします。また、世界経済入門については「R」評価がないことも条件となります(経済学科の学生で 1 年前期に D で後期に単位を取った場合、応募は可能)。経済学科の人は 2 年前期に国際経済を履修中である場合はプライオリティを高くします(経営学科の人はシステム上取れないので問題ありません、気にしないでいいです)。「履修履歴」を重視します。この意味が分からない人は他のゼミに行きましょう。加えて、指示されたことをきちんとできる、という観点も選考にあたり重視します。

・提出書類について:1次選考(第1希望)の人はKスマ・アンケート機能の「1自己紹介、2志望理由」を書く必要がありません。空白はエラーになるようなので、「あ」とだけ入力してください)。無駄なことは要求しません。Kスマでの登録締切前(5/21 正午)までにメールにてエントリーシート(エクセル形式、A4で1ページ程)を請求し、それを記入して、成績表と合わせて5月21日までにメールで送ってください(詳細はエントリーシートに記載しています)。2次選考以降の人はKスマ・アンケート機能1と2両方記載のうえ、メールで事前にエントリーシートを請求し、記入した上で成績表とTOEFL・TOEIC等のスコア表(2次以降は提出必須。昨年8月に全員受験したTOEICを除く、2年以内のもの)、1次応募ゼミに提出した課題の合わせて4つのファイルをKスマ登録締切時間までにメールで送ってください。このゼミでは英語文献を用いるため、他のゼミに未練がなく意欲が確実なこのゼミを第1志望とする人以外には能力の確認の意味でこのやり方を取らせてもらいます。なお、エントリーシートの請求は時間に余裕をもって行ってください。

## 細谷圭 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ
—	—	—	—	—

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			経済理論入門	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			経済経営数学入門	

3年男	9人	3年女	4人	4年男	7人	4年女	2人
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

当ゼミでは標準的なマクロ経済学を中心に幅広く学んでいきますが、なかでも長期にわたる経済問題を対象とした経済成長および経済発展の理論分析と実証分析に焦点をあてます。加えて、わが国の長期的経済動向に重大な影響を及ぼしてくる社会保障問題についても、計量経済学的なアプローチをまじえながら多角的に取り扱います。マクロ経済学やミクロ経済学を深く学びたい人、さまざまなデータを用いた実証分析に興味のある人、公務員試験の合格を目指す人、研究者やエコノミストの養成を目的とした高度研究型の大学院への進学を目指す人などに向いているゼミです。

### (2) キーワード

マクロ経済学、動学マクロ経済学、日本経済論、応用計量経済学、社会保障論、COVID-19

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

#### 【2年次】

- 日本経済論、社会保障論、経済統計分析の基礎的なテキストの輪読・精読を通じて、学問内容の理解とあわせて効果的なプレゼンテーションの技法を身に付けます。また、レジュメの作成状況についてもチェックし、質の高い学びを目指します。なお、令和5年度は、学生にテキストを選択してもらい、日本経済論でカバーする内容について幅広く学びました。

#### 【3年次】

- マクロ経済学的世界的に定評のある英文テキストについて、1年をかけて丹念に輪読していきます。この1年間の取り組みが当ゼミの学びの中核部分になります。それなりに大変で地味な作業が必要になりますが、誠実に取り組めば人生を支えてくれる力がつきます。

#### 【4年次】

- 卒業研究に集中的に取り組めます。マクロ経済学、ミクロ経済学（市場理論、ゲーム理論、情報の経済学等）などの経済理論、統計的手法を用いたものなら、テーマは自由です。

(4) 演習IV以外で論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）

チーム分けをして、具体的なテーマについて調査・研究し、プレゼンを行ってもらう可能性があります。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

平成 29 年度着任のため、平成 31 年 3 月にはじめて卒業生を送り出しました。國學院での卒業生はまだ 5 期です。地銀等の民間企業が多いですが、公務員も少々おられます。資格試験突破や大学院進学を希望する先輩も在籍しています。

前任校（東北学院大学）では、公務員（国家公務員，地方公務員等），民間企業（メーカー，金融機関，商社等），高校教員，国立の研究型大学院進学とさまざま。比較的公務員が多いのが特徴でしたが，そのための対策等をゼミで行ったことはありません。闘魂注入のみ。

(6) 教員について(自己紹介等)

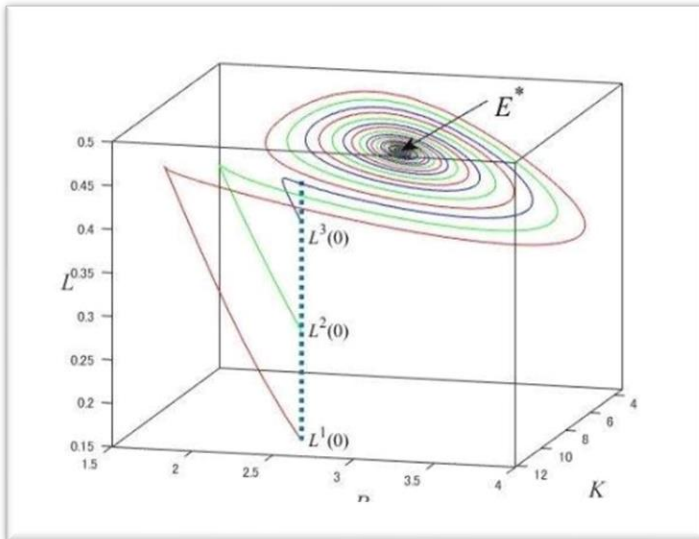
岩手県出身。博士（経済学，一橋大学，平成 15 年 3 月）。岩手→仙台→東京（国立）→仙台とわたり歩き，平成 29 年春から國學院に赴任しました。主専攻は動学マクロ経済学，副専攻は公共経済学です。理論だけでなく計量分析も行います。最近 COVID-19 に関する研究に特に注力しています。執筆した論文や書籍を知りたい方は，インターネットで氏名を検索するとすぐにいろいろ見つかります（元プロ野球選手の方に迷い込まないように [笑]）。

好きなこと（もの）は，自動車の物色や運転，オフロード RC カー作り・操作，昔の TV ドラマ，じゃじゃ麺店・ラーメン店・蕎麦店・居酒屋めぐり，小旅行，古書蒐集，ビール等。スポーツは何でも好きですが最近全くです（最近箱根駅伝の追っかけや神宮出沒が重要イベントになっています）。減量目的でよく歩いていますし（並木橋～代官山～恵比寿～渋谷橋～大学のコースが定番），筋トレもやっていますが効果は明瞭ではありません。

(7) その他

- 良識ある善良な市民を育成したいです。
- 胆力の備わった人間を育成したいです。
- 少し難しいかなというくらいの高い目標を掲げて努力を惜しまない人を応援します。
- 学年横断的で一体感をもったゼミを目指しています。





左の図は、最近私が関心を持って研究を進めている環境マクロ経済学において、著名な先行研究である Antoci et al. (2022, *European Economic Review*, Vol. 143, 104023)モデルの興味深い解軌道を数値解析によって再現したものです (ゼミの雰囲気を知る写真は学生作成の案内冊子をご覧ください)。

## 水無田気流 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			ジェンダーと経済	経済と社会参加
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			身体文化論	社会科学入門

3年男	10人	3年女	7人	4年男	9人	4年女	8人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

### (1) テーマ

私たちが日ごろ目にする衣服や建築等のデザインは、社会の身体観や人間観を表現しています。この演習では、「身体」を切り口に社会の「今・ここ」を検証します。一見個人的な出来事に見えることがらを社会構造と結びつけて考察する力を、C. W. ミルズは「社会学的想像力」と呼びました。本演習では、この社会学的想像力を身につけるために、現実の多様な事例を取り上げます。

たとえば、ファッション・建築・日用品等がいかにしてそのような美的な価値をもつに至ったのかやそれらがいかに消費市場やマーケティングの対象となるのかの検討、スポーツ・ロボット・映像表現等身体技法や身体感覚についての先鋭的な事例研究、ゲームやアニメなどのサブカルチャーやメディアに見られる美的表現の解釈、身体観とジェンダーやセクシュアリティの関係、さらにバリアフリーやユニバーサルデザインといったデザインが提起する、「美しい」「健康的な」身体観のはらむ問題の再考などが、射程範囲となります。

「身体はすべての人間に共通したものである。人間の住んでいる社会的条件だけが変化する。そこで、人間の身体に基づく象徴は、さまざまな社会経験を表現するのに用いられるのだ」とは、文化人類学者メアリー・ダグラスの言葉です。このように身体とは、生理的・自然的な条件であるとともに、ローカル文化特性や社会的側面を色濃く反映したものです。これらの検証を通じ、各自が多様な学問的興味・関心を見出し、今日の文化と社会の特性を研究することが、本演習の眼目となります。

### (2) キーワード

メディア、ジェンダー、消費、身体の文化社会学

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

#### 1) 演習Ⅰ (2年後期)

- ・カルチュラルスタディーズや消費社会論についての基礎知識を身につける。教員による講義の後、その内容についてディベートを行い理解度を測る。

- ・テキスト読解に取り組む。各担当ページごとに報告者と座長を決め、報告と討議を行う。

## 2) 演習Ⅱ (3年生)

・アカデミック・ライティングの基礎を学び、その後ワークショップ形式のクリエイティブ・ライティングを行う。

・ゼミ論テーマを決定し、報告を行う(前半ショートバージョン、後期からはロングバージョンとなる)。ゼミ論報告ターンでは、報告者、討論者、座長を定め学会報告形式で報告を行う。1月初頭にゼミ論を提出。

## 3) 演習Ⅲ (4年生)

・ゼミ論をベースにした卒論内容を精査し、卒論の内容について報告を行う。報告形式は演習Ⅱと同じ。

・1月初頭に卒論を提出。

### 【参考：過去の卒論テーマ】

- ・「かわいい」の文化社会学的検討
- ・流行が生み出す消費活動の変化
- ・色彩固有感情が消費活動に及ぼす影響
- ・音楽メディア(CD、レコード)の歴史と未来
- ・コロナ禍でのインフォデミックによる弊害~今後のインフォデミックへの対策~
- ・日本の空き家問題の検証
- ・「住みたいまち」を決める要素についての考察 ~機能性と情緒性~

## (4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細(枚数や時期など)

- ・演習Ⅰ:各自の研究テーマに沿ってレポート作成(3000字程度)。
- ・演習Ⅱ:各自の研究テーマに沿ってゼミ論文作成(10000~20000字程度)。
- ・演習Ⅲ・Ⅳ:各自の研究テーマに沿って卒業論文作成(20000~40000字程度)。

## (5) 先輩たちの主な就職先と傾向

金融、IT、教育、専門商社、公務員等

## (6) 教員について(自己紹介等)

文化社会学・家族社会学・ジェンダー論等を専門とし、これまで多くの大学で教鞭を執り研究活動を行う傍ら、現代詩人として中原中也賞、晩翠賞といった賞を受賞し、社会評論や経済評論以外にも、文芸評論、美術評論、歴史評論、さらにはゲーム評論など多様なジャンルの執筆活動をしています。出身は神奈川県相模原市の国道16号線沿いで、ロードサイド型の大型ショッピングセンターが建ち並ぶ現在の「日本の郊外」の走りのようなところで育ちました。チェーン店の居並ぶ均質化された風景を見て育ったためか、異なる文化集団や風土性に関心が高まり、学部生のころはバックパッカーをやって、世界中をふらふら歩き回っていました。役立つと思わずやってきたことがほぼ軒並み評論の対象になってしまい、純粋な趣味を失いつつある今日このごろです。私は長年文章で食べてきたため、諸君には最低限、文章を読み書きする技能だけはしっかり指導させていただきたいと思っています。

## (7) その他

今日の社会は、グローバル化が進展する中での地産地消など「ローカル」文化の再評価や、「ファスト」な消費市場が席卷する中でエシカル消費・ソーシャル消費など社会的意識の高まり、メディアの進展により変容する「身体」へのまなざし、家族やジェンダー規範の保守化と同時進行するLGBT市場への期待など、一見矛盾する事態までもが並置されています。その負の側面も含め、高速で変化して行く現代社会の様態を読み解くために、「文化」は大きな手がかりになります。それは公正さだけでは解消し得ない、人々の望ましさや欲望にも根ざしています。これらを学ぶことは、今日の社会を読み解く大きな武器になると考えておりますので、積極的な参加を歓迎いたします。

## 宮下雄治 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定

演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			ビジネスデザイン (経営学科)	政策デザイン(経 済学科)
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B			リーダーシップ 基礎	

3年男	12人	3年女	13人	4年男	13人	4年女	12人
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

### (1) テーマ

新しい時代のマーケティング、消費経済

### (2) キーワード

消費心理、新事業構想、デジタル経済、広告、店舗デザイン、顧客満足

### (3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

- ・マーケティングの理論と実務を並行して学ぶ(インプット)とともに、学んだ内容を個人とグループ単位でアウトプットする機会を多く設けています。マーケティングに関する基礎的な書籍の輪読を2年次に行い、3年生から学外のビジネスコンテスト(アプリ開発、新店舗開発)に全員が参加するとともに、広告コンテスト(CMとキャッチコピー)に参加しました。

- ・マーケティングや消費情報に特化した新聞「日経MJ(マーケティングジャーナル)」を3年次に全員が購読し、消費の最先端や企業動向を学びます(週3日発行で月額2,800円がかかります。前期3ヶ月、後期3ヶ月の6か月講読)

- ・ゼミ活動にかかわる費用は、年間約2万円です(マーケティング検定受験料、書籍購入費、マーケティング専門紙の購読費など)。全員がマーケティング検定の取得を目指すとともに、専門紙の購読を通して最新のマーケティング事例を学びます。

- ・直近の卒業論文のテーマ例

「小売業のマーチャンダイジングに関する研究」

「SNSマーケティングと消費者の購買行動に関する研究」

「GAFAsの成功要因に関する研究」

- 「押し活を用いたマーケティングに関する研究」
- 「行動経済学が消費者の購買行動に与える影響」
- 「韓国アイドルからみるファンマーケティングに関する研究」
- 「メディア視聴の変化からみるマスメディアの未来」
- 「スポーツを通じたブランディングが組織に与える影響」
- 「WEB・EC サイトによるマーケティング実証研究」

(4) 卒業論文以外で、論文などを課す場合の詳細（枚数や時期など）  
レジュメやレポートはあるが論文はとくになし

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

ここ数年の主な就職先は、全日本空輸、プリンスホテル、アクセンチュア、電通東日本、三菱食品、三井食品、伊藤忠食品、国分、デロイトトーマツ、東京ディズニーランドホテル、星野リゾート、テレビ朝日サービス、凸版印刷、共同印刷、エルメス、ニトリ、沖電気工業、富士ソフト、JA農協、大成建設、東海旅客鉄道（JR 東海）、セブンイレブン・ジャパン、ファミリーマート、そごう・西武、イトーヨーカ堂、イオン、マイナビ、住友林業、パナソニックコンシューマーマーケティング、サントリーマーケティング&コマース、京王プラザホテル、タリーズコーヒージャパン、パルタック、みずほ銀行、長野銀行、日本郵便、群馬県庁、越谷市役所、東京消防庁など進路はとても幅広いです。

(6) 教員について(自己紹介等)

約10年間、広告会社と流通のシンクタンクでマーケティング実務に携わり、消費財メーカーのプロモーション立案と効果分析を仕事としてきました。

(7) その他

時間をかけなければ見えないこと、わからないこと、身につかないことがあります。ゼミ活動の毎回の積み重ねが力になりますので、ゼミには休まずに目標と向上心を持ち続けることができる方の応募をお待ちしています。頼りになる先輩がたくさんいます！



## 山本健太 ゼミ

サマーセッション・スプリングセッションの実施予定



演習Ⅰ サマセ	演習Ⅰ スプセ	演習Ⅱ サマセ	演習Ⅱ スプセ	演習Ⅲ サマセ

学部指定修得済み科目		ゼミ指定必須科目		履修しておくことが望ましい科目	
日本の経済	基礎演習 A			地域と都市の経済	
コンピュータと 情報Ⅰ	基礎演習 B				

3年男	11人	3年女	2人	4年男	5人	4年女	3人
-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

(1) テーマ

経済活動を「地域」という空間的枠組みの中で考える。

(2) キーワード

経済地理学, フィールドワーク, 地域

(3) ゼミの進め方(合宿など正課授業以外を含む)

論文の輪読による基礎的な思考法や手法の習得と, 個人テーマに沿ったフィールドワークと報告書の作成を想定しています。

(4) 卒業論文以外で, 論文などを課す場合の詳細 (枚数や時期など)

2年次に論文踏査を始め, 3年次には当該分野の研究動向についてレビュー報告(2000~4000字程度)を作成する。

(5) 先輩たちの主な就職先と傾向

鉄道, 建材, アパレル, 保険会社, 不動産関係など。対面接触のほか, 輸送関係や地方を好む傾向があります。テレビ番組制作, ゲーム制作, 出版などのクリエイティブ系に就職したのもいます。

(6) 教員について(自己紹介等)

山本健太      検 索

(7) その他

ゼミとは, 単に勉強するところではなく, 社会関係も学ぶ場であると考えています。このゼミに入るということは, 私  
に弟子入りすることだと思ってください。

バイト, 部活, サークルはゼミ欠席理由として認められません。ゼミでの活動を最優先事項として, 他のゼミ生と  
協調し, 積極的に参加してください。



## 『令和6年（2024年）度開講「演習Ⅰ」（ゼミ）募集要項』

國學院大學 経済学部教務委員会

**WEBでもCHECK!**

國學院大學経済学部

検索

